

**TEC**

# プリンタドライバ操作マニュアル

---

- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

# 目 次

はじめに .....	1
1. 概 要 .....	2
1.1 特長 .....	2
1.2 対象プリンタ .....	2
1.3 表記について .....	2
1.4 画面表示について .....	2
1.5 商標および略称について .....	3
1.6 動作条件 .....	3
1.6.1 ソフトウェア (OS) .....	3
1.6.2 ハードウェア .....	3
1.7 注意事項（重要） .....	4
[ 双方向通信サポート ] の有効 / 無効 .....	5
2. インストール手順 .....	10
全機種共通 .....	10
2.1 前準備 .....	12
2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合 .....	12
2.1.2 ホームページからダウンロードする場合 .....	13
2.2 Windows 98/Me へのインストール .....	14
2.3 Windows 98 へのインストール ( USB 接続・プラグ & プレイ インストール ) .....	17
2.4 Windows Me へのインストール ( USB 接続・プラグ & プレイ インストール ) .....	20
2.5 Windows 98/Me へのインストール ( パラレル接続・プラグ & プレイ インストール ) .....	23
2.6 削除 .....	25
3. 機 能 .....	27
3.1 印刷条件の設定 .....	28
3.2 用紙設定 .....	31
3.2.1 用紙サイズの編集 .....	32
3.2.2 プリセット .....	33
3.2.3 高度な設定 .....	34
3.3 グラフィックの設定 .....	36
3.4 オプションの設定 .....	37
3.5 バーコードフォント / RFID フォントの設定 .....	38
3.5.1 バーコードフォントの編集 .....	40
3.5.2 RFID フォントの編集 .....	42
3.6 バーコードプリンタの動作確認 .....	44
3.7 プリンタフォントの指定 .....	51
4. システム構成 .....	54
4.1 システム構成例 .....	55
5. Seagull Scientific TCP/IP Port の追加 / 削除 .....	59
5.1 追 加 .....	60
5.2 削 除 .....	61
6. 付 錄 .....	62
6.1 双方向通信サポートの設定方法 .....	62
6.2 プリンタのパラメータ設定方法 .....	63



# はじめに

---

このたびは東芝テック製バーコードプリンタをお買いあげいただき、誠にありがとうございます。  
本書は、東芝テック製バーコードプリンタ用 TPCL タイプ(\*)プリンタドライバ(型番：BDRV-WBX8-Z31、  
バージョン：V7.0.6 M-2) のインストール手順、および機能等の概要を記載した説明書です。  
なお、最新版プリンタドライバは、東芝テックバーコードシステムホームページからダウンロードいただけます。

URL アドレス：<http://barcode.toshibatec.co.jp/Jpn/download/index.htm>

\* TPCL : TEC Printer Control Language の略

# 1. 概要

---

## 1.1 特長

本製品は Windows 98/Me 環境下で東芝テック製バーコードプリンタをご使用いただくための専用プリンタドライバです。

- Windows アプリケーションから印刷が簡単に行えます。
- バーコードプリンタ固有の命令（制御コマンド）を知らなくても、レーザーやインクジェットプリンタなどの OA 用プリンタと同じように使用できます。
- バーコードプリンタ特有のラベルサイズ、透過 / 反射センサー、カット印刷などの設定をプロパティ画面から簡単に行うことができます。
- バーコードプリンタとの接続は、RS-232C、パラレル、USB、LAN で接続します。

注意：プリンタの機種により、接続できるインターフェースが異なります。詳しくはご使用になるプリンタの製品マニュアルをご覧ください。

- 文字フォントは、Windows の TrueType フォントはもちろん、バーコードプリンタ内蔵のプリンタフォントもご利用いただけます。
- バーコードおよび2次元コードは、プリンタドライバにて印刷したいコードをフォント登録することにより、アプリケーションから簡単にご利用いただけます。

## 1.2 対象プリンタ

バーコードプリンタ：

B-374-TS15、B-474-TS15、B-874-TS15 / TS25、B-419-GS23、B-433-GS15 / TS15  
B-458-TS13 / TS23 / TS33 / HS13 (\*1)、B-484-TS15、B-858-TS15、B-SX5T-TS15、  
B-SV4D-GH10 / GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SP2D-GH10 / 20 / 30 / 40、  
B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R

補足：B-458-HS13で『銘板・シールプリントシステム』、『プリントシステム（B-458-HS13用）』を使用する場合は、本製品をご使用ください。

## 1.3 表記について

メニュー名、画面名、アイコン名、ボタン名、タブ名、項目名は [ ] で囲んで表記します。

例：[OK] をクリックします。

コンピュータの画面上や、プリンタの液晶表示器上に表示される文言は “ ” で囲んで表記します。

例：“CENTRO. MODE” の設定を . . .

参照する章のタイトルは『』で囲んで表記します。

例：『1.1 特長』を参照してください。

## 1.4 画面表示について

本書で使用しているコンピュータ画面は、操作説明の一例として掲載しています。特に断りがない場合は、Windows 98の画面を使用しています。また、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 1.5 商標および略称について

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標になっている場合があります。本文中の各社の登録商標または商標には、TM、®マークは表示しておりません。本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。
- Microsoft® Windows® 98 operating system は、Windows 98と表記します。  
( Windows 98SE < Second Edition > を含みます。)
  - Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system は、Windows Me と表記します。

## 1.6 動作条件

本製品は、以下のシステムおよび環境でご利用になれます。

### 1.6.1 ソフトウェア（OS）

以下の日本語 OS で使用できます。

\* Windows 98、Windows Me

### 1.6.2 ハードウェア

上記の Windows OS が動作する DOS/V 機 ( IBM AT 互換機 ) で、かつ、以下の条件が必須または推奨となります。

	必須条件	推奨条件
CPU	Intel® Pentium® 400MHz 相当以上	Intel® Pentium® 1GHz 相当以上
メモリ	64MB 以上	256MB 以上
HDD	10MB 以上の空き容量	

# 1.7 注意事項（重要）

本製品をご使用いただく前に、次の注意事項を必ずお読みください。

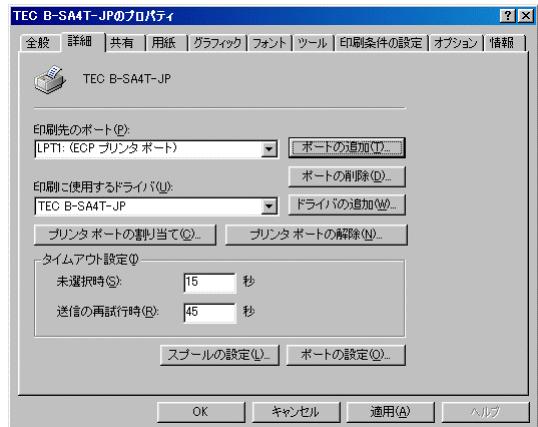
- ◆ 旧バージョンのプリンタドライバがインストールされている環境に、本製品（V7.0.6 M-2）をインストールする場合は、『2.6 削除』に記載されている方法にて、必ず旧バージョンのプリンタドライバを削除してから本製品（V7.0.6 M-2）をインストールして下さい。

旧バージョンのプリンタドライバを削除せずに本製品をインストールした場合、旧プリンタドライバのファイル等が影響して印刷動作が不安定になる場合があります。『2.6 削除』に記載されている方法で削除することにより、システムからプリンタドライバの関連ファイル及び、レジストリ情報が削除されます。

- ◆ プリンタドライバのインストールにて、プリンタの追加ウィザードで「ローカルプリンタまたはネットワークプリンタ」を選択するときは、必ずローカルプリンタを選択してください。  
ネットワークプリンタとしてバーコードプリンタを使用する場合も、ローカルプリンタとしてインストールした後、印刷先にネットワークパスを指定してご利用ください。

## □ 印刷先にネットワークパスを指定する方法

1. プリンタのプロパティから、[ポートの追加(T)]ボタンをクリックします。

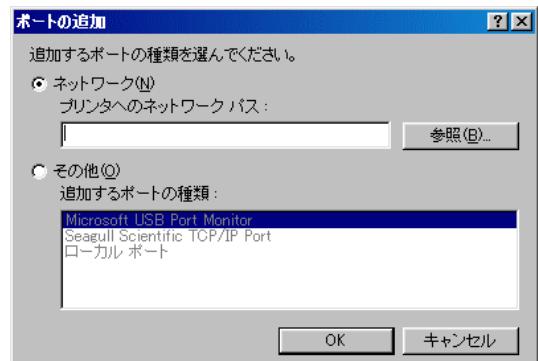


2. “ネットワーク”を選択し、プリンタへのネットワークパスを入力してください。

パス：¥¥<プリンタサーバー名>¥<共有名>

補足：\* プリンタサーバー名は、共有プリンタが接続されているコンピュータのコンピュータ名です。

\* 共有名は、共有プリンタのプリンタ名です。



- ◆ 本製品のプロパティにて、[ 双方向通信サポート ] の有効 / 無効を必ず次の図のように指定してください。  
初期設定は双方向通信サポートが有効になっています。指定を間違えると正しく印刷できません。

## [ 双方向通信サポート ] の有効 / 無効

[ 双方向通信サポート ] の指定を有効にすることにより、プリンタの状態をコンピュータで監視することができます。本機能が必要でない場合は、下表にて [ 双方向通信サポート ] の指定を無効に指定する条件でご使用ください。プリンタドライバの処理が軽減され印刷効率が向上します。

指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

: 有効 × : 無効

コンピュータとの接続方法 (I/F)	条件	プリンタ			
		パターン A	パターン B	パターン C	パターン D
RS-232C (*1) (シリアルケーブル)	なし				×
パラレル (プリンタケーブル) IEEE1284規格準拠 (互換 / ECP モード)	プリンタの設定 (*2)				
	“CENTRO. MODE” SPP	×	×	×	×
	“PLUG & PLAY” OFF				
	“CENTRO. MODE” ECP		非対応	非対応	非対応
USB (Ver1.1) USB (Ver2.0)	なし				×
	Seagull Scientific TCP/IP Port 使用時 (*3)			非対応	非対応
LAN 10BASE-T 100BASE-TX	その他の Port 使用時	×	×	×	×

## プリンタ対応表

パターン A ~ D は以下の機種によって区別されています。

パターン A	パターン B	パターン C	パターン D
B-SX5T-TS15	B-SA4TM/TP-TS15 B-SX8R-TS15 B-858-TS25-R	B-SV4D-GH10/GC10	B-374-TS15 B-474-TS15 B-874-TS15/TS25 B-419-GS23 B-433-GS15/TS15 B-458-TS13/TS23/TS33 B-484-TS15 B-858-TS15 B-458-HS13 B-SP2D-GH10/20/30/40

\*1 : RS-232C ( シリアルケーブル ) を使用して接続した場合、印刷までに時間がかかります。B-419-GS23以外のプリンタの場合には、他の接続方法を推奨します。

また、RS-232C ( シリアルケーブル ) を使用して接続した場合、[ 双方向通信サポート ] の指定は必須ではありません。

\*2 : プリンタの設定において、“ CENTRO. MODE ” の設定を「 ECP 」に指定した場合は、必ず “ PLUG & PLAY ” の設定を「 ON 」に指定してください。また、“ CENTRO. MODE ” の設定を「 SPP 」に指定した場合は、必ず “ PLUG & PLAY ” の設定を「 OFF 」に指定してください。

( プリンタ出荷時は、“ CENTRO. MODE ” の設定は「 SPP 」、 “ PLUG & PLAY ” の設定は「 OFF 」になっています。双方向印刷を行う場合は、“ CENTRO. MODE ” の設定を“ ECP ”、“ PLUG & PLAY ” の設定を“ ON ” に変更してください。 )

プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。

\*3 : Seagull Scientific TCP/IP Port は、B-SX5T-TS15、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R 以外の機種でご利用できません。

- [ 双方向通信サポート ] を有効にしたまま印刷した場合は、印刷ジョブを削除し、[ 双方向通信サポート ] を無効に切り換えた後、コンピュータを再起動してください。
- ステータスモニターを誤って起動した場合は、ステータスモニターを停止し、[ 双方向通信サポート ] を無効に切り換えた後、コンピュータを再起動してください。
- [ 双方向通信サポート ] を無効にすると、[ ステータス ] プロパティシートの [ ロギングオプション ] 機能は使用できなくなります。
- [ 双方向通信サポート ] を有効にし、プリンタの状態を監視する場合は、1台のコンピュータに複数のプリンタドライバを同じ出力ポートに指定して、絶対インストールしないでください。  
同じ出力ポートを指定する場合には、[ 双方向通信サポート ] を無効にしてご使用ください。  
また、複数のプリンタドライバを1台のコンピュータにインストールしてご使用になる場合、印刷するポートを同じポートに指定したプリンタドライバについては、[ 双方向通信サポート ] をすべて無効に設定してください。

- ◆ B-419を本製品でご利用いただく場合、印刷先のポートは標準COMポートを選択してください。  
B-419側は、プリンタを“高速グラフィックモード”に指定し、ポートの構成を次の画面のように設定してください。  
プリンタ側モード設定方法は、プリンタに付属する取扱説明書をご覧ください。

- ビット / 秒 : 38400
- データビット : 8
- パリティ : 偶数
- ストップビット : 1
- フロー制御 : Xon/Xoff



- ◆ 1台のコンピュータに複数のプリンタドライバをインストールする場合、新規に用紙を登録すると、他のプリンタドライバの既定値として指定されている用紙種類が変わってしまうことがあります。  
新規に用紙を登録した場合には、各プリンタドライバの用紙種類の既定値を確認してください。  
この問題を回避する方法として、新規に登録する用紙が、用紙リストの最後になるように用紙名を指定してください。用紙リストは、用紙名の先頭文字により昇順（記号 数値 アルファベット カナ 漢字）でソートされます。



- ◆ バーコードフォントのデータとして、漢字データを使用する場合は、[ ツール ] - [ 設定 ] - [ プリンタオプション ] - [ コマンドプロトコル ] - [ 制御コード ] を [ ESC / LF / NUL ] に設定してください。
- 漢字データが指定できるバーコードフォントのコード種類 PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、Maxicode、QR Code
  - 本製品をインストールしたときは、[ 制御コード ] が [ 標準 ] に設定されています。[ 標準 ] のままバーコードデータとして漢字コードを印刷すると、プリンタはエラーとなります。



- ◆ B-SP2D を本製品でご利用いただく場合、B-SP2D 側は、プリンタを“TPCL-LE モード”に指定してください。プリンタ側モード設定方法は、プリンタの外部機器インターフェースマニュアル(非売品)をご覧ください。モード設定コマンドとコマンドを使用せずにモード設定する方法が記載されています。

- ◆ USB 接続でご使用の場合は、ステータスモニターにてプリンタの状態を確認してください。

正常に印刷している途中に、コンピュータとプリンタ間の通信が一時的に停止し、コンピュータがエラーメッセージを表示することがあります。

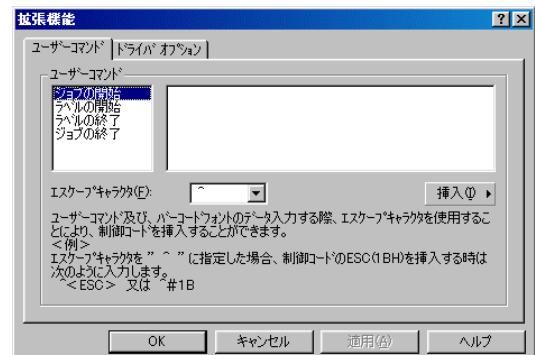


- ◆ 本製品インストール後のエスケープキャラクタのデフォルト設定は、caret [ ^ ] (5EH)に設定されます。

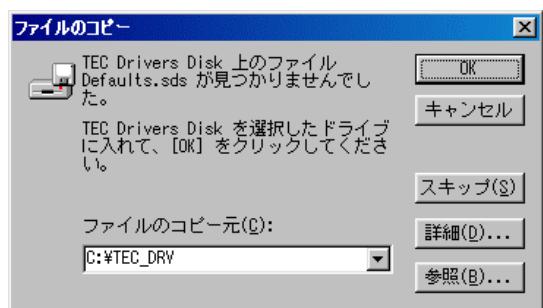
QR-Code 等のバーコードフォントを使用する場合、バーコードデータとしてエスケープキャラクタを指定するときは、エスケープキャラクタを2つ続けて指定してください。例えば、エスケープキャラクタとして、デフォルトの caret [ ^ ] をそのまま使用する場合、バーコードデータとして [ ^ ][ ^ ] を指定するときは [ ^ ][ ^ ] と指定してください。



[用紙] タブの“高度な設定”ボタンをクリックし、エスケープキャラクタを指定します。エスケープキャラクタは、バーコードデータとしてバイナリデータを指定する場合に使用します。



- ◆ USB 接続によるプラグ&プレイでの本製品インストール時に [ディスクの挿入] および [ファイルが必要] が表示される場合があります。[ディスクの挿入] にて [OK] をクリック後、[ファイルが必要] でコピー元を前準備でセットアップしたフォルダ (C:\TEC\_DRV) に指定してインストールを継続してください。



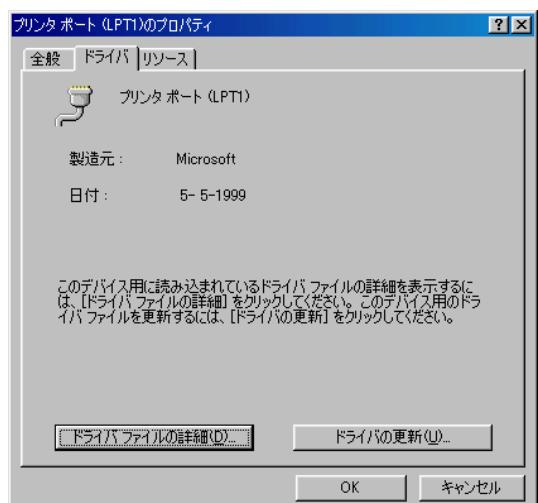
- ◆ Windows98環境において、B-SV4D-GH10 / GC10をパラレルケーブル接続する場合には、ECP プリンタポートは使用できません。デバイスドライバの更新ウィザードにて標準ポートのプリンタポートに更新してご使用ください。

□ **デバイスドライバの更新ウィザードで標準ポートのプリンタポートに更新する方法**

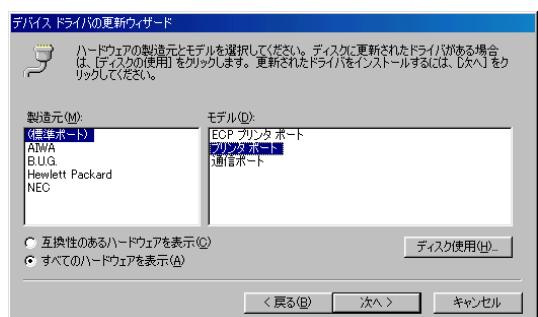
1. デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリックして、システムのプロパティを表示します。



2. [ポート (COM / LPT)] の [ECP プリンタポート] をダブルクリックして、[ECP プリンタポート (LPT1) のプロパティ] を表示します。



3. [ドライバの更新]ボタンをクリックして [デバイスドライバの更新ウィザード] を起動します。



4. 途中、右のような画面が表示されたら、[特定の場所にある全てのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する]を選択し、(標準ポート)の [プリンタポート] を指定してください。



- ◆ デバイスフォントを使用した場合には、実際の印刷結果が、印刷プレビューと異なります。印刷レイアウト作成時には実際に印刷を行い各文字列フィールドの印字位置をご確認ください。
- ◆ 本製品（V7.0.6 M-2）の『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、未対応となっております。
- ◆ Seagull Scientific TCP/IP Port は、B-SX5T-TS15、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R のみ対応しています。他の機種ではご使用できません。Seagull Scientific TCP/IP Port をご使用になる場合には、必ず「双向通信サポート」を有効にしてください。指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。  
複数のコンピュータから、Seagull Scientific TCP/IP Port を使用して同じ出力ポートに接続できません。  
Seagull Scientific TCP/IP Port を指定したローカルプリンタを共有プリンタに設定し、他のコンピュータからは印刷先に共有プリンタのネットワークパスを指定して接続してください。
- ◆ B-SX8R-TS15を本製品でご利用いただく場合、ステータスマニターにてプリンタの状態を監視する際には、プリンタの設定において、“ASF STATUS”の設定を「TYPE2」に設定してください。  
プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。
- ◆ B-SX8R-TS15を本製品でご利用いただく場合、アプリケーションのページ設定等で指定する印刷ドキュメントの余白と、プリンタドライバの[印刷条件の設定]タブの[フィード量]は以下に示す条件でご使用ください。設定しない場合印字位置がズれてしまいます。

印刷の向き	印刷ドキュメントの余白				フィード量
	上	下	左	右	
縦	3 mm 以上	3(7) mm 以上	1 mm 以上	1 mm 以上	0 mm
横	1 mm 以上	1 mm 以上	3(7) mm 以上	3 mm 以上	0 mm
縦180°	3 mm 以上	3(7) mm 以上	1 mm 以上	1 mm 以上	0(4) mm
横180°	1 mm 以上	1 mm 以上	3(7) mm 以上	3 mm 以上	0(4) mm

補足：プリンタのバージョンがV1.4より前の場合、( )の中の値を設定してください。

注意：フィード量は標準値です。実際の印字結果からフィード量を微調整してください。

- ◆ 本製品の用紙サイズ A4、A5、A6は DEVMODE の定義名(DMPAPER\_A4、DMPAPER\_A5、DMPAPER\_A6)で定義していません。本製品の用紙サイズ A4、A5、A6は独自の用紙 ID になります。プリンタドライバインストール直後の用紙 ID を示します。DEVMODE 構造体の dmPaperSize による用紙サイズの指定や確認はこの用紙 ID を使用してください。

用紙名	用紙 ID
USER	256
2 x 4	257
200 x 85	258
4 x 4	259
4 x 6	260
A4	261
A5	262
A6	263

注意：用紙 ID は固定値ではありません。左表はプリンタドライバのインストール直後の値です。新規に用紙を登録した場合には、用紙 ID が違う値に更新される場合があります。

用紙 ID は用紙リストの上から順番に256番から割り振られます。  
用紙リストは、用紙名の先頭文字により昇順（記号 数値 アルファベット カナ 漢字）でソートされます。



## 2. インストール手順

ご使用のプリンタの機種とコンピュータとの接続方法により、インストール手順が異なります。該当する項目の手順に従って、プリンタドライバをインストールしてください。

なお、旧バージョンのプリンタドライバが既にインストール済みの場合は、必ずアンインストールを行ってから、コンピュータを再起動後、プリンタドライバをインストールしてください。

→『2.6 削除』を参照してください。

注意：本書ではインストールフォルダを“c:¥”で表現していますが、CD-ROMよりインストールする場合は、お使いのコンピュータ毎でドライブ名が変わります。（例：“d:¥”）

### 全機種共通

プリンタドライバのインストール前に、『2.1 前準備』の項目を行ってください。

#### プリンタドライバのインストール方法

：接続可能 ×：接続不可

プリンタの機種	コンピュータとの接続方法				
	プラグ&プレイを使用しない			プラグ&プレイ	
	RS-232C	LAN	パラレル	USB	パラレル
B-858-TS25-R					
B-SX8R-TS15					
B-SA4TM/TP-TS15					
B-SX5T-TS15					
B-SV4D-GH10/GC10					×
B-374-TS15				×	×
B-474-TS15				×	×
B-874-TS15/TS25				×	×
B-419-GS23					×
B-433-GS15/TS15				×	×
B-458-TS13/TS23/TS33/HS13				×	×
B-484-TS15				×	×
B-858-TS15				×	×
B-SP2D-GH10/20/30/40			×	×	×

注意：本表はプリンタがサポートしているインターフェースの種類を表すものではありません。

実際のコンピュータとの接続方法から、接続可能（）を確認後、次ページの『OS 別インストール方法』を参照いただき、該当するインストール方法に従い、プリンタドライバのインストールを行ってください。

## OS 別インストール方法

OS	コンピュータとの接続方法				
	プラグ&プレイを使用しない			プラグ&プレイ	
	RS-232C	LAN	パラレル	USB	パラレル (*1)
Windows 98				2.3 Windows 98へのインストール ( USB 接続・プラグ&プレイインストール )	2.5 Windows 98/Meへのインストール ( パラレル接続・プラグ&プレイインストール )
Windows Me				2.4 Windows Meへのインストール ( USB 接続・プラグ&プレイインストール )	

\*1：プラグ&プレイで、パラレル接続の場合には、プリンタ側の設定が必要です。パラレル接続時のプラグ&プレイの初期値は無効に設定されています。

パラレル接続時（プラグ&プレイを使用して本製品をインストールする場合）のプリンタ側の設定

### ◆ <B-SX5T-TS15の場合>

プリンタのパラメータ設定にて“<2>PARAMETER SET”の“CENTRO. MODE”を“ECP”に、“PLUG & PLAY”を“ON”に設定してください。パラレルインターフェース接続にて次の機能が有効になります。

- プラグ&プレイ機能によるプリンタドライバのインストール。
- プリンタの状態監視。  
→『3.6 バーコードプリンタの動作確認』のステータスウィンドウの表示オプション(P49)を参照してください。

プリンタ出荷時は、“CENTRO. MODE”的設定は「SPP」、「PLUG & PLAY」の設定は「OFF」になっています。双方向印刷を行う場合は、“CENTRO. MODE”的設定を“ECP”、“PLUG & PLAY”的設定を“ON”に変更してください。プリンタの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照ください。

### ◆ <B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-Rの場合>

プリンタのパラメータ設定にて“<2>PARAMETER SET”的“PLUG & PLAY”を“ON”に設定してください。

パラレルインターフェース接続にて次の機能が有効になります。

- プラグ&プレイ機能によるプリンタドライバのインストール。

プリンタ出荷時は、“PLUG & PLAY”的設定は「OFF」になっています。また、プリンタの状態監視機能は使用できませんので、本製品のプロパティにて、[ 双方向通信サポート ] を無効に指定してください。

## 2.1 前準備

### 2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合

1. プリンタドライバをセットアップするコンピュータを起動します。
2. プリンタドライバ セットアップ用 CD-ROM 「START UP CD-ROM」を CD ドライブに挿入します。
  - CD-ROM が自動起動しない場合は、CD-ROM のフォルダ内にある “Start.exe” をダブルクリックしてください。
3. 「プリンタドライバ」をクリックします。
4. 「プリンタドライバのインストール」をクリックします。
5. 「ソフトウェア使用許諾」が表示されますので、同意してインストールする場合は [ 同意します ] をクリックしてください。
  - [ 同意しません ] をクリックした場合は手順3に戻り、本機能はご利用できません。
6. プリンタの追加ウィザードが表示されます
  - 『2.2 Windows 98/Me へのインストール』の手順4(P14)へ進んでください。

注意：プラグ&プレイ機能を使用してプリンタドライバをインストールする場合は、手順6で表示される「プリンタの追加ウィザード」画面で [ キャンセル ] をクリックし、終了してください。その後、『OS 別インストール方法 (P11)』に従ってインストールをしてください。

## 2.1.2 ホームページからダウンロードする場合

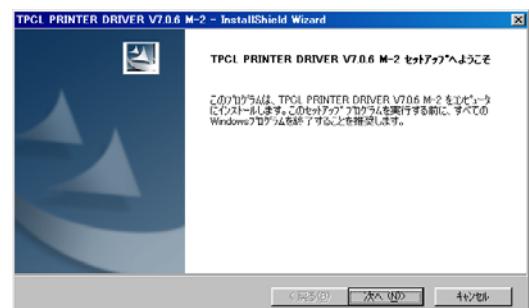
注意：START UP CD-ROMでインストールする場合、本作業は必要ありません。

1. 下記弊社ホームページからプリンタドライバのインストール用ファイル「TPCL-drv\_7.0.6\_M-2\_J.exe」をローカルディスクにダウンロードします。

➤ URL アドレス：<http://barcode.toshibatec.co.jp/Jpn/download/index.htm>

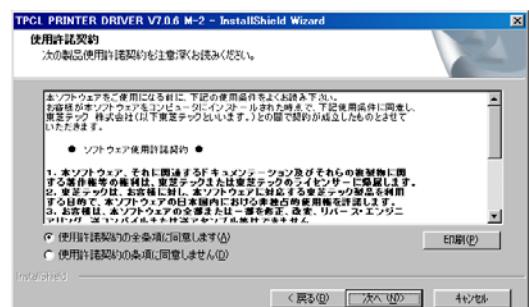
注意：ホームページ上に記載されておりますソフトウェア使用許諾契約に同意されない場合は、ダウンロードできませんのでご了承ください。

2. ダウンロードした「TPCL-drv\_7.0.6\_M-2\_J.exe」をダブルクリックすると、“TPCL Printer Driver V7.0.6 M-2 – Installshield Wizard”を起動しますので、[ 次へ ] をクリックします。



3. 「ソフトウェア使用許諾契約」が表示されますので、“使用許諾契約書の全項目に同意します”を選択し、[ 次へ ] をクリックします。

注意：契約に同意いただけない場合は、本製品はご利用できません。

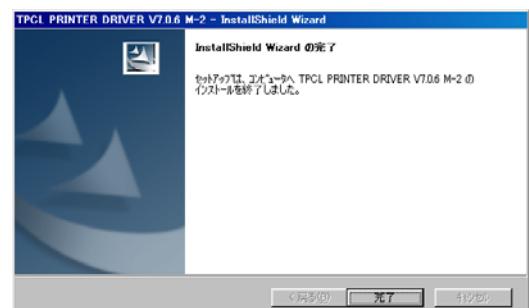


4. [ インストール ] をクリックすると、プリンタドライバのインストール用ファイルを “C:\TEC\_DRV” に作成します。

注意：フォルダ名は “C:\TEC\_DRV” で固定されています。変更できませんのでご注意ください。



5. インストールが終了したら [ 完了 ] をクリックします。



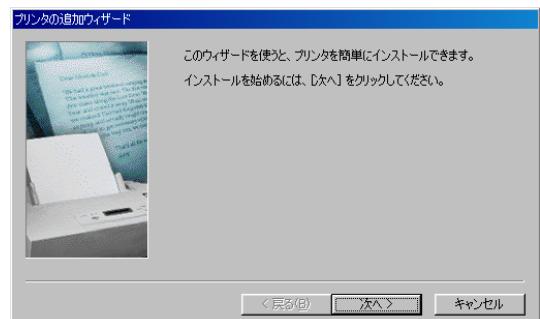
## 2.2 Windows 98/Me へのインストール

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、この項目の手順4に進んでください。

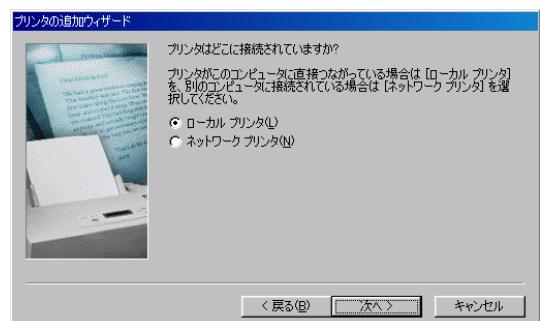
1. コンピュータを起動します。
2. [スタート] - [設定(S)] - [プリンタ(P)] を選択し、[プリンタ] フォルダを表示します。
3. [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックして、「プリンタの追加ウィザード」を起動します。

4. [次へ] をクリックし、インストールを開始します。

補足：START UP CD-ROM をお使いの場合、前準備が完了すると、この画面に移動します。



5. ローカルプリンタを選択し、[次へ] をクリックします。  
ネットワークプリンタや他の PC 接続されたプリンタを指定する場合も、必ず、ローカルプリンタを選択してください。インストール終了後に設定を変更します。(『共有プリンタとして使用する場合』を参照してください。)

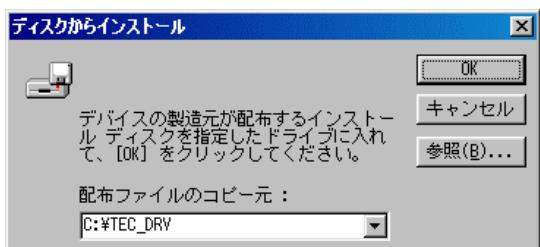


6. [ディスク使用(H)] をクリックします。



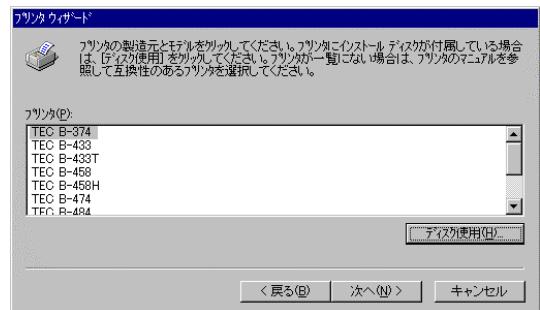
7. 『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\TEC\_DRV) を指定<sup>(\*)</sup>し [開く(O)] をクリックします。TEC.inf を選択して [OK] をクリックします。

\*1： START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ (\TEC\_DRV) を指定します。



## 8. インストール可能なプリンタの一覧が表示されます。

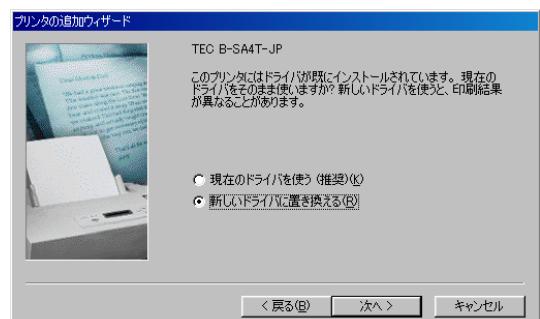
- \* TEC B-374: B-374-TS15
- \* TEC B-433: B-433-GS15
- \* TEC B-433T: B-433-TS15
- \* TEC B-458: B-458-TS13 / TS23
- \* TEC B-458H: B-458-HS13
- \* TEC B-474: B-474-TS15
- \* TEC B-484: B-484-TS15
- \* TEC B-858: B-858-TS15
- \* TEC B-874: B-874-TS15 / TS25
- \* TEC B-419G: B-419-GS23
- \* TEC B-SX5-JP: B-SX5-TS15
- \* TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / B-SV4-GC10
- \* TEC B-SP2D-JP: B-SP2D-GH10 / 20 / 30 / 40
- \* TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- \* TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- \* TEC B-858-R: B-858-TS25-R



## 9. インストールする機種を選択し、[ 次へ ] をクリックします。

## 10. “新しいドライバに置き換える”を選択して、[ 次へ ] をクリックします。

補足：初めてインストールする場合、この操作は省略されます。

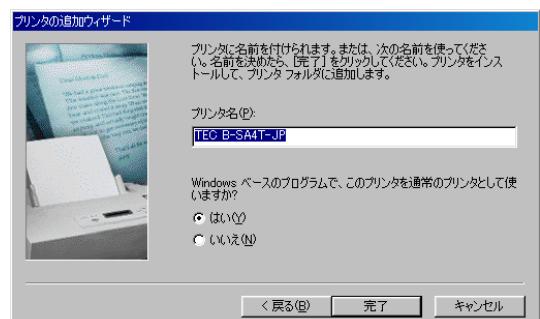


## 11. プリンタに使用するポートを選択し、[ 次へ ] をクリックします。



## 12. プリンタ名および通常のプリンタとして使用するか否かを決め、[ 完了 ] をクリックします。

補足：本製品をご使用になる場合、“通常のプリンタとして使用する”を選択すると、プリンタのプロパティを開く時間が早くなります。



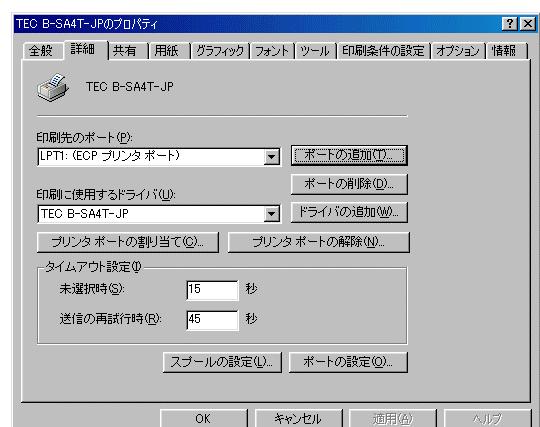
## 13. インストールが終了すると、[ プリンタ ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

## ■ 共有プリンタとして使用する場合

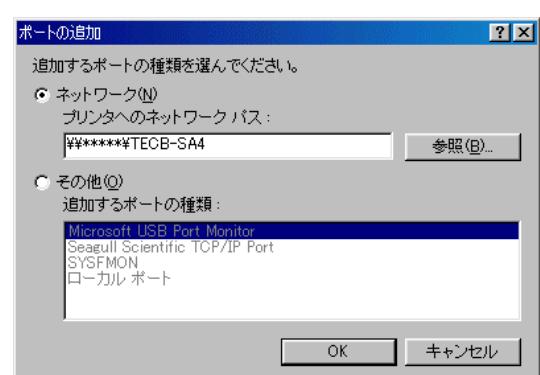
1. 前述の手順1~13を行います。
2. 新しく追加されたプリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプロパティを開きます。



3. [ 詳細 ]を選択し、[ ポートの追加(T) ]をクリックします。



4. “ネットワーク”を選択し、共有設定したプリンタのネットワークパス（例：¥¥\*\*\*\*\*¥TECB-SA4）を入力、または[参照]をクリックして該当するプリンタを選択し、[OK]をクリックします。



5. ポートの設定が終了したら、[ OK ]をクリックしてプロパティを閉じます。

注意：本製品のインストール後は、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。  
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

## 2.3 Windows 98へのインストール ( USB 接続・プラグ&プレイ インストール )

注意：START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

1. 電源を入れたプリンタとコンピュータを USB ケーブルで接続すると新しいハードウェア “USB Device” が検出されます。[ 次へ ] をクリックします。



2. “ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する ”を選択し、[ 次へ ] をクリックします。

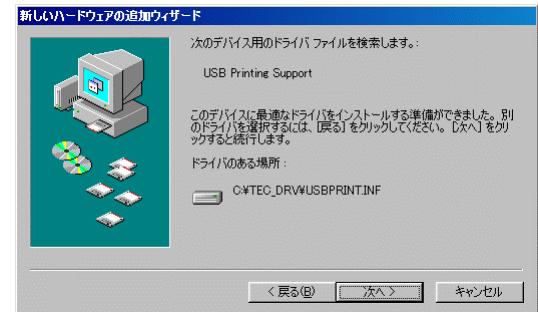


3. “ 検索場所の指定 ”をチェックし、[ 参照 ] をクリックします。  
『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ ( C:\TEC\_DRV ) を指定<sup>(\*)</sup>し、[ 次へ ] をクリックします。

\*1： START UP CD-ROM をお使いの場合、CD-ROM 上のフォルダ ( \TEC\_DRV ) を指定します。



4. “ USB 印刷サポート ” のドライバが検索されたことを確認し、[ 次へ ] をクリックします。



5. 新しいハードウェア “USB 印刷サポート” のインストールの完了が表示されたら、[完了] をクリックします。



6. しばらくすると、新しいハードウェアが検出されます。

#### 新しいハードウェア名

- \* TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- \* TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / B-SV4-GC10
- \* TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- \* TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- \* TEC B-419-CS: B-419-GS23
- \* TEC B-858-R: B-858-TS25-R

7. [新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されますので、[次へ]をクリックします。

➤ “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



8. “使用中のデバイスに最適なドライバを検索する”を選択し、[次へ]をクリックします。



9. “検索場所の指定”をチェックし、[参照]をクリックします。

『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\TEC\_DRV) を指定<sup>(\*)</sup>し、[次へ]をクリックします。

\*1: START UP CD-ROMをお使いの場合、CD-ROM上のフォルダ (\TEC\_DRV) を指定します。



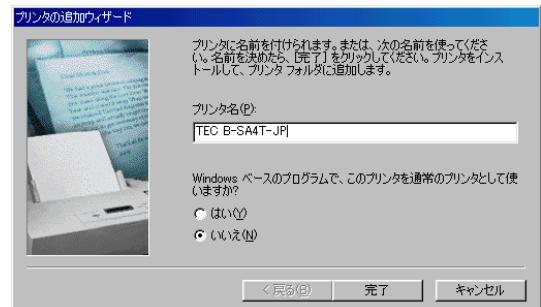
10. このデバイス用のドライバが検索されたことを確認し、[ 次へ ] をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



11. プリンタ名と通常のプリンタとして使うか否かを設定し、[ 完了 ] をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



12. 新しいハードウェアのインストールの完了が表示されたら、[ 完了 ] をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



13. インストールが終了すると、[ プリンタ ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意 : TEC B-419G の場合、本製品のインストール後は、必ず「双向通信サポート」を無効にしてください。  
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

## 2.4 Windows Meへのインストール (USB接続・プラグ&プレイインストール)

注意：START UP CD-ROMを使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROMを使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROMメイン画面」を終了してください。

1. 電源を入れたプリンタとコンピュータをUSBケーブルで接続すると新しいハードウェア“USB Device”が検出されます。“ドライバの場所を指定する”を選択し、[次へ]をクリックします。



2. “検索場所の指定”をチェックし、[参照]をクリックします。  
『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ(C:\¥TEC\_DRV)を指定<sup>(\*)</sup>し、[次へ]をクリックします。

\*1： START UP CD-ROMをお使いの場合、CD-ROM上のフォルダ(¥TEC\_DRV)を指定します。



3. “USB印刷サポート”的ドライバが検索されたことを確認し、[次へ]をクリックします。



4. 新しいハードウェア“USB印刷サポート”的インストールの完了が表示されたら、[完了]をクリックします。



5. しばらくすると、新しいハードウェアが検出されます。

新しいハードウェア名

- \* TEC B-SA4T-JP: B-SA4TM / TP-TS15
- \* TEC B-SV4-JP: B-SV4-GH10 / B-SV4-GC10
- \* TEC B-SX5-JP: B-SX5T-TS15
- \* TEC B-SX8R-JP: B-SX8R-TS15
- \* TEC B-419-CS: B-419-GS23
- \* TEC B-858-R: B-858-TS25-R

6. [新しいハードウェアの追加ウィザード]画面が表示されますので、“ドライバの場所を指定する”を選択し、[次へ]をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



7. “検索場所の指定”をチェックし、[参照]をクリックします。

『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ (C:\TEC\_DRV) を指定<sup>(\*)</sup>し、[次へ]をクリックします。

\*1: START UP CD-ROMをお使いの場合、CD-ROM上のフォルダ (\TEC\_DRV) を指定します。



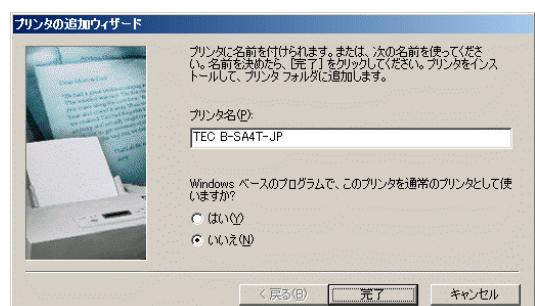
8. このデバイス用のドライバが検索されたことを確認し、[次へ]をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



9. プリンタ名と通常のプリンタとして使うかどうかを設定し、[完了]をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



10. 新しいハードウェアのインストールの完了が表示されたら、[ 完了 ] をクリックします。

- “TEC B-SA4T-JP”をインストールするときの表示画面です。



11. インストールが終了すると、[ プリンタ ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意：TEC B-419Gの場合、本製品のインストール後は、必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。  
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

## 2.5 Windows 98/Me へのインストール ( パラレル接続・プラグ&プレイ インストール )

注意 : START UP CD-ROM を使用してインストールする場合、『2.1.1 START UP CD-ROM を使用する場合』の手順を行ったあと、画面上に出てくる「プリンタの追加ウィザード」、および「START UP CD-ROM メイン画面」を終了してください。

1. プリンタとコンピュータをパラレルケーブルで接続します。

2. プリンタの電源を入れます。

3. プリンタのパラメータ設定を行います。

- < B-SX5T-TS15 の場合 >  
プリンタのパラメータ設定で “<2>PARAMETER SET” の “CENTRO. MODE” を “ECP” に、“PLUG & PLAY” を “ON” に設定します。
- < B-SA4TM / TP-TS15 または B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R の場合 >  
プリンタのパラメータ設定で “<2>PARAMETER SET” の “PLUG & PLAY” を “ON” に設定します。

注意 : パラメータの設定方法については、『6.2 プリンタのパラメータ設定方法』を参照してください。

4. コンピュータの電源を入れてください。システム起動時、新しいハードウェアが検出されます。  
“新しいハードウェアが検出されました”とメッセージが表示後、右の画面が表示しますので、[ 次へ ] をクリックします。

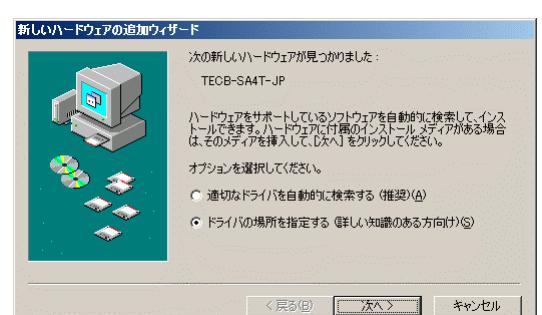


5. しばらくすると、ソフトウェアのインストールを行うための追加ウィザードが表示されます。

- Windows 98 の場合  
“ 使用中のデバイスに最適なドライバを検索する ” を選択し、[ 次へ ] をクリックします。



- Windows Me の場合  
“ ドライバの場所を指定する ” を選択し、[ 次へ ] をクリックします。



6. “検索場所の指定”をチェックし、[参照]をクリックします。

『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ(C:\TEC\_DRV)を指定<sup>(\*)</sup>し、[次へ]をクリックします。

\*1: START UP CD-ROMをお使いの場合、CD-ROM上のフォルダ(\TEC\_DRV)を指定します。



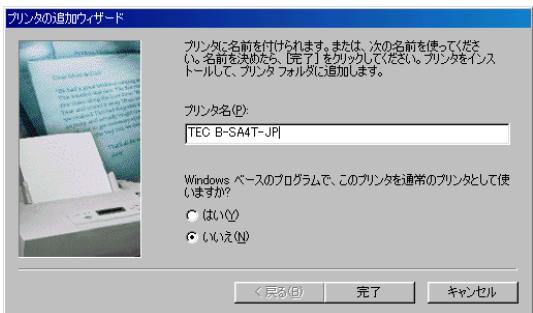
7. 新しいデバイスのドライバファイルが検索されたことを確認し、[次へ]をクリックします。

➤ 新しいデバイス名

* TEC B-SA4T-JP:	B-SA4TM / TP-TS15
* TEC B-SX5-JP:	B-SX5T-TS15
* TEC B-SX8R-JP:	B-SX8R-TS15
* TEC B-858-R:	B-858-TS25-R



8. プリンタ名と通常のプリンタとして使うかどうかを設定し、[完了]をクリックします。



9. 新しいハードウェアのインストールの完了が表示されたら、[完了]をクリックします。



10. インストールが終了すると、[プリンタ] フォルダに新しくアイコンが追加されます。

注意: TEC B-SX5T-JP以外の場合、本製品のインストール後に必ず「双方向通信サポート」を無効にしてください。  
指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

## 2.6 削除

### ◆ 本バージョン（V7.0.6 M-2）およびV6.5 Build75、V6.5 Build77以外のバージョンを削除する場合

次の場合には、以下の手順により必ずプリンタドライバを削除してからプリンタドライバをインストールしてください。

本バージョンを再インストールする場合。

旧バージョンが既にインストール済の場合。

インストールを途中でキャンセルした場合。

何らかのトラブルにより、プリンタドライバがインストールできない場合。

注意：プラグアンドプレイによるインストール時は、プリンタの電源を OFF してから削除を行ってください。

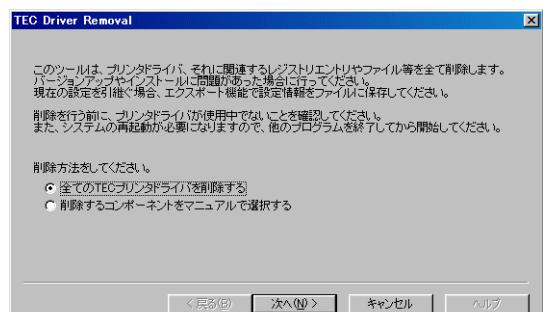
注意：登録済の用紙情報、バーコード情報はプリンタドライバの削除により消えてしまいます。これらの情報はプリンタドライバを削除する前にエクスポート機能を使用することにより、ファイルに保存することができます。プリンタドライバの再インストール後に、インポート機能にて保存したファイルを読み込むことにより、これらの用紙情報、バーコード情報が再利用できます。

### ■ プリンタドライバの削除

1. [スタート] - [ファイル名を指定して実行] - [参照] を選択し、『2.1 前準備』でセットアップしたフォルダ ( C:\TEC\_DRV ) を開き、DriverCleaner.exe を選択し、[開く(O)]をクリックしてください。

注意：上記操作を行う前には Windows アプリケーションを終了してください。また、スプーラに印刷ジョブが残っていないことを確認後、スプーラ及びプリンタフォルダを閉じてください。

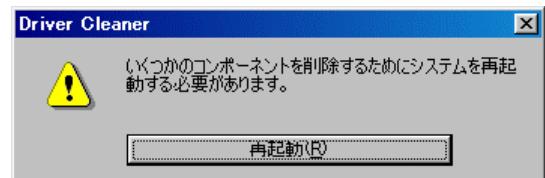
2. [全ての TEC プリンタドライバを削除する]を選択し[次へ(N)]をクリックしてください。



3. [完了]をクリックしてプリンタドライバの削除を開始してください。

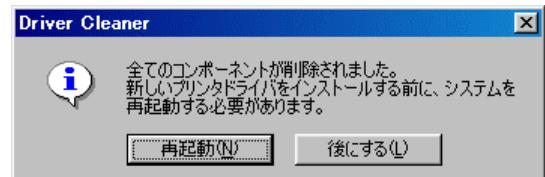


4. 右の画面が表示されたら、[再起動(R)]をクリックしてコンピュータを再起動してください。



5. 削除が正常に終了すると右の画面が表示されます。プリンタドライバをインストールする前に[再起動(N)]をクリックして、再度コンピュータを再起動してください。

注意：削除が失敗した場合には、正常終了するまで手順1から5を繰り返してください。



## ■ 前準備でセットアップした情報の削除

1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] を起動します。
2. “プログラムの変更と削除(H)”一覧から、“TPCL Printer Driver V(バージョン)”、または“テックプリンタドライバインストール用ファイル”を選択し、[削除] をクリックします。
3. 「追加したアプリケーション、およびすべての機能を完全に削除しますか？」と表示されたら、[はい] をクリックします。
4. 「アンインストール完了」画面が表示されますので、[完了] をクリックして終了します。

## ◆ バージョン V6.5 Build75、V6.5 Build77を削除する場合

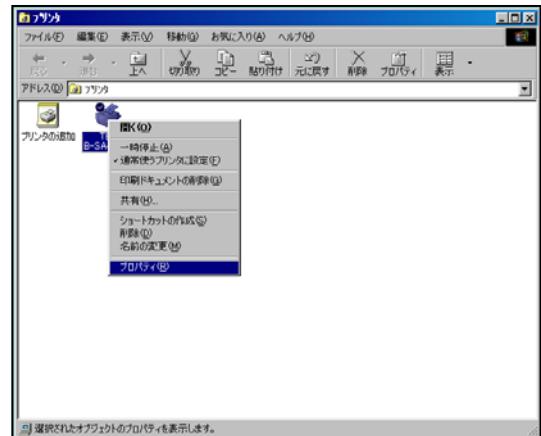
1. [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プログラムの追加と削除] を起動します。
2. “プログラムの変更と削除(H)”一覧から、“TEC \*\*\*\*\* プリンタ”を選択し、[追加と削除] をクリックします。（\*\*\*\*\*は、プリンタ名。例えば、“B-458”, “B-419G”など）
3. “ファイル削除の確認” ウィンドウで削除するファイルを確認後、[はい] をクリックします。
4. 「アンインストールが完了しました」が表示されたら、[OK] をクリックします。  
注意：上記の手順1～4を行わずに、プリンタアイコンを削除した場合は、プリンタドライバを再インストール後、[プログラムの追加と削除] を行って削除ください。
5. 削除が終了したら、コンピュータを再起動してください。

# 3. 機能

本製品の機能設定は、プリンタアイコンの“プロパティ”で行います。

## ■ 機能設定方法

- プリンタアイコン 右クリック プロパティ
  - 3.1 印刷条件の設定
  - 3.2 用紙設定
  - 3.3 グラフィックの設定
  - 3.4 オプションの設定
  - 3.5 バーコードフォント / RFID フォントの設定
  - 3.6 バーコードプリンタの動作確認
  - 3.7 プリンタフォントの指定



参考：\* アプリケーション内の印刷ダイアログボックスからでも、本製品の一部機能の設定ができますが、その場合一時変更的に扱われることがありますので、ご注意ください。

\* プロパティを開く際に時間がかかる場合は、プリンタアイコンを右クリックして“通常使うプリンタに設定”を選択しておくと、プロパティが表示されるまでの時間が短縮されます。

\* 外部機器インターフェースマニュアル（非売品）は、本製品に同梱されておりません。ご希望される場合は弊社窓口までお問い合わせください。

### 3.1 印刷条件の設定

「印刷条件の設定」を選択すると、バーコードプリンタ固有の印刷条件が設定できます。



#### ■ メディア設定

注意：B-SX8R では設定できません。

##### □ 印刷方法(E)

用紙の印刷方式の種別を選択します。

###### ➤ 印刷方法

- \* 直接感熱
- \* 直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）
- \* 熱転写
- \* 热転写（リボンセーブ）

B-SA4T、B-458、B-858、B-858-R にリボンセーブ機能はありません。B-433、B-419は“直接感熱”のみ、B-SV4は“直接感熱”を指定します。

“直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）”は、RFID 対応プリンタのみ使用可能です。RFID 対応プリンタ以外で“直接感熱（無印字エリアヘッドアップ）”を指定した場合は、プリンタがエラーになります。タグ内蔵 IC がサーマルヘッド部を通過する時に、サーマルヘッドをアップしタグ内蔵 IC を保護します。

##### □ センサー(N)

センサーの種別を選択します。

###### ➤ センサー種別

- \* なし
- \* 反射センサー（通常ラベル使用時）
- \* 透過センサー（通常ラベル使用時）
- \* 透過センサー（手動スレッショルド値使用時）
- \* 反射センサー（手動スレッショルド値使用時）
- \* 透過センサー（衣料用タグ使用時）

“透過センサー（手動スレッショルド値使用時）”、“反射センサー（手動スレッショルド値使用時）”は、プリンタのスレッショルド設定操作（キー操作）で、使用するセンサーのスレッショルドの設定を行ったときに選択します。“透過センサー（衣料用タグ使用時）”は B-433でのみ使用可能です。

##### □ ラベルギャップ(G)

ラベル間ギャップの大きさを設定します。タグの場合は印刷しない領域を設定します。

## ■ 印刷方法

注意：B-419、B-SP2D では設定できません。また、B-SX8R は印刷速度のみ指定可能です。

### □ 印刷モード(M)

印刷モードを選択します。

#### ➤ 印刷モード

- \* 連続発行（バックフィード有り）
- \* 剥離発行（バックフィード有り）

剥離機構を装着して剥離発行する場合は“剥離発行（バックフィード有り）”を選択します。

それ以外の場合は“連続発行（バックフィード有り）”を選択します。

### □ カット(C)

カット発行する・しないを設定します。カット発行する場合は、カットするタイミングを選択します。  
印刷モードが“剥離発行”の場合、“無効”以外は選択できません。

#### ➤ カット種別

- \* 無効
- \* 1枚毎カット
- \* 指定の間隔でカット
- \* 同一ラベル毎にカット（コピー枚数でカット）
- \* 印刷ジョブの最後でカット

一定間隔でカットする場合は、“指定の間隔でカット”を選択し、“カット間隔”を入力します。

### □ 印刷速度(P)

印刷速度を選択します。バーコードプリンタの機種により、選択できる速度が異なります。

## ■ 微調整

### □ 設定(S)

“設定”をチェックすると、各動作の微調値が設定できます。

#### ➤ 設定項目

- \* フィード量(F)
- \* バックフィード量(B)
- \* カット/剥離位置(U)
- \* 印字縮み補正(K)

用紙搬送方向の印刷の縮みを調整する場合、“印字縮み補正”に値を入力します。

バーコードプリンタの機種により、設定できる項目が異なります。

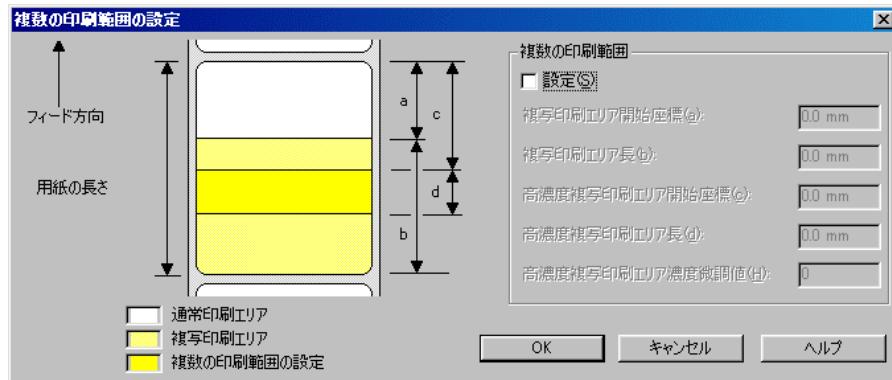
### □ 複写印刷エリア設定… ( B-419のみ )

複写用紙を使用する場合、複写印刷する領域を設定します。

➔ 『複写印刷エリア設定』を参照してください。

## ■ 複写印刷エリア設定 (B-419のみ設定可能)

「印刷条件の設定」タブの“複写印刷エリア設定”ボタンにより、複写印刷エリアの設定を行います。



### □ 複写印刷エリア

“設定(S)”をチェックすると、複写印刷エリアが設定できます。

### □ 複写印刷領域

複写する印刷領域の開始位置 [ 複写印刷エリア開始座標(a) ] と、長さ [ 複写印刷エリア長(b) ] を指定します。複写印刷領域として指定した領域は、何も指定していない領域よりも濃く印刷されます。

➤ 複写印刷領域の開始位置と長さの指定範囲： 0.0mm ~ 390.0mm

### □ 高濃度複写印刷領域

複写印刷領域よりも濃く印刷する領域の開始位置 [ 高濃度複写印刷エリア開始座標(c) ] と、長さ [ 高濃度複写印刷領域の長さ(d) ] を指定します。複写印刷エリアの濃度に対し、高濃度複写の濃度微調値で設定した値分濃く印刷されます。(高濃度複写の濃度微調値が“0”的場合、複写印刷領域と高濃度複写印刷領域の濃さは同じになります。)

➤ 高濃度複写印刷領域の開始位置値と長さの指定範囲： 0.0mm ~ 390.0mm

### □ 高濃度複写の濃度微調値

高濃度複写印刷領域の印刷濃度を、複写印刷領域の印刷濃度に対しどの程度濃くするか、印刷濃度を微調整します。

➤ 濃度微調値 [ 高濃度複写印刷エリア濃度微調値(H) ] の設定範囲： 0 ~ 10

補足：\* 複写できる枚数は1枚までです。

\* OCR やバーコードを複写印字した場合、かすれが生じたときは、その印刷する領域を高濃度複写印刷領域として指定することにより、かすれを少なくすることができます。

\* 複写印刷領域と高濃度複写印刷領域の指定は、それぞれ単独で指定が可能です。

\* 複写印刷領域のみ指定することや、高濃度複写印刷領域のみ指定することが可能です。

\* 複写印刷領域内に高濃度複写印刷領域を指定する必要はありません。

\* [ オプション ] の [ 印刷濃度微調整 ] で指定した濃度微調は、複写印刷領域および高濃度複写印刷領域にも反映されます。

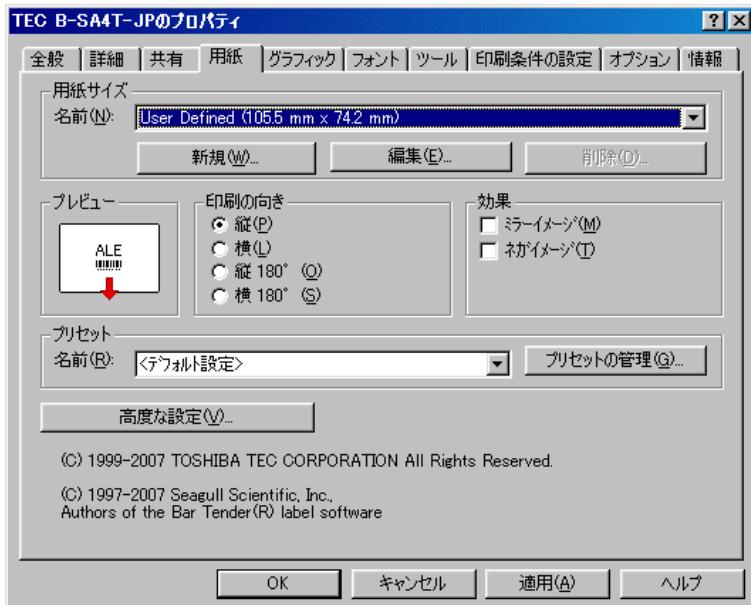
\* 何も指定していない領域の濃度 = 印刷濃度微調整値

\* 複写印刷領域の濃度 = 印刷濃度微調整値 + 複写印刷用の標準濃度

\* 高濃度複写印刷領域の濃度 = 印刷濃度微調整値 + 複写印刷用の標準濃度 + 高濃度複写印刷の濃度微調値

## 3.2 用紙設定

「用紙」タブを選択すると、用紙サイズや印刷向きなど用紙に関する設定が行えます。



### ■ 用紙サイズ

- 名前(N)
  - 用紙サイズとして登録されている名前から、既定とする用紙サイズを選択します。
  - また、編集または削除する用紙サイズの名前を選択します。
- 用紙サイズ新規登録(W)、編集(E)、削除(D)
  - “新規(W)”、“編集(E)”、“削除(D)”の各ボタンにより、用紙サイズのメンテナンスを行います。
  - 『3.2.1 用紙サイズの編集』を参照してください。
  - 用紙サイズの登録数に制限はありません。

### ■ 印刷の向き

印刷の向きを選択します。“縦(P)”が頭出し印刷、“縦180° (O)”が尻出し印刷を意味します。  
“横(L)”は“縦(P)”を90°回転した印刷向きとなります。

### ■ 効果

“ミラーイメージ(M)”、“ネガイメージ(T)”から選択できます。  
バーコードプリンタの機種により、選択できる項目が異なります。

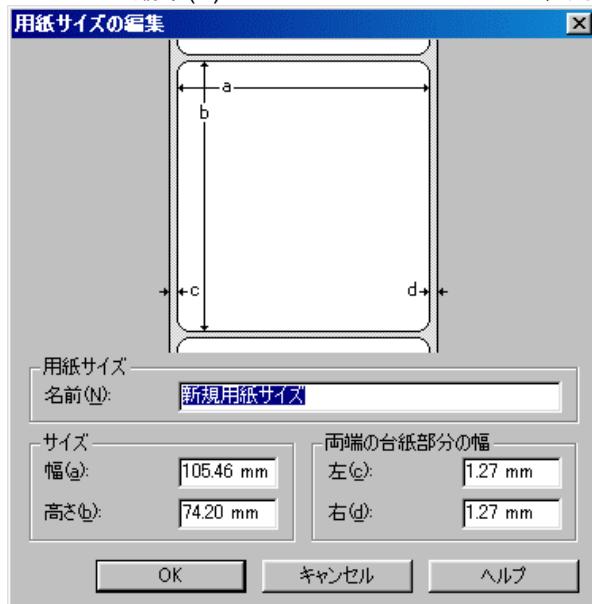
### ■ プリセット

本製品の設定内容に名前を付け、設定情報を保存できます。  
プリセットの名前を選択し、保存した設定情報を呼び出して印刷することができます。  
→『3.2.2 プリセット』を参照してください。

注意：共有プリンタへ印刷する場合、印刷指示を行うクライアントコンピュータに、“印刷向き”や“用紙サイズ”を登録してください。共有プリンタ側に用紙サイズを登録しても、クライアント側と用紙サイズを共有して使用することはできません。

### 3.2.1 用紙サイズの編集

「用紙」タブの“新規(W)”または“編集(E)”ボタンをクリックすると、用紙サイズの編集が行えます。



#### ■ 用紙サイズ

##### □ 名前(N)

“新規(W)”の場合は、用紙サイズの名前を任意に設定できます。(2バイト文字も可)

#### ■ サイズ

##### □ 幅(a)、高さ(b)

用紙の幅と高さを入力します。

#### ■ 両端の台紙部分の幅

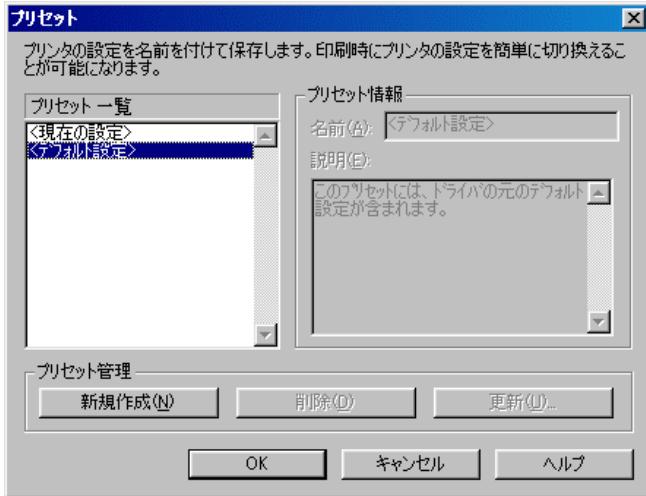
##### □ 左(c)、右(d)

左右の台紙のはみ出した部分の幅を入力します。(左右同じ値になります。)

注意：B-SP2D、B-419、B-433では両端の台紙部分の幅を0mmに指定し、用紙の幅を、幅(a)+左(c)+右(d)の値を指定します。アプリケーションの印字レイアウトにて印字位置を調整してください。

### 3.2.2 プリセット

「用紙」タブの“プリセットの管理(G)”ボタンをクリックすると、プリンタの設定情報に名前を付けて管理できます。



#### ■ プリセット管理

##### □ 新規作成(N)

[新規作成] をクリックして任意に指定した“名前(A)”および“説明(E)”を、プリンタの設定情報として保存できます。[OK] を押すと設定が保存されます。

##### 保存する設定情報

- [用紙] タブ
  - \* 用紙サイズ
  - \* 印刷の向き（縦、横、縦180°、横180°）
  - \* 効果（ミラーイメージ、ネガイメージ）
- [印刷条件の設定] タブ
  - \* メディア設定（印刷方法、センサー、ラベルギャップ）、印刷方法（印刷モード、カット、印刷速度）
  - \* 微調整（設定、フィード量、カット／剥離位置、バックフィード、印字縮み補正、停止位置）
- [グラフィック] タブ
  - \* ディザリング（なし、ハーフトーン、オーダード、代数法、誤差拡散法、色調整、ディザリング）
  - \* 色（色の制御、レンダリングインデント）
- [オプション] タブ
  - \* グラフィックオプション（転送モード）
  - \* 印刷濃度微調整（設定、直接感熱、熱転写、イエロー、赤・オレンジ、青・紫、ブラック）
  - \* オートフィード（設定、フィード調整）

##### □ 削除(D)

削除するプリセットを選択し、[削除] をクリックします。

##### □ 更新(U)

[用紙] タブ、[印刷条件の設定] タブなどの設定を変更し、既存のプリセット名にその変更を反映させる場合、プリセット一覧から該当するプリセット名を選択し、[更新] をクリックします。

### 3.2.3 高度な設定

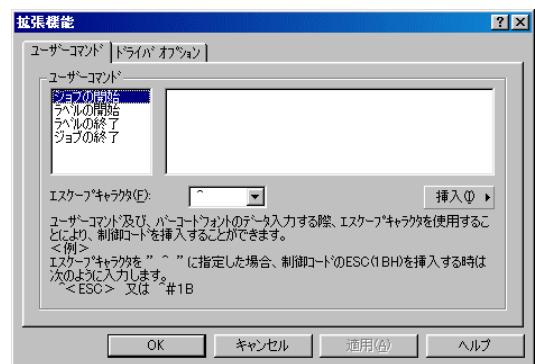
「用紙」タブの“高度な設定(V)”ボタンをクリックすると、印刷に関する応用的な設定が行えます。

#### ■ ユーザーコマンド

##### □ ユーザーコマンド列の記述

“ジョブの開始”、“ジョブの終了”、“ラベルの開始”、“ラベルの終了”の各タイミングで、バーコードプリンタのプリンタコマンド列を記述することができます。  
本製品の設定でカバーできないプリンタ動作などを、コマンド列で記述してください。

補足：外部機器インターフェースマニュアル（非売品）を参照してください。外部機器インターフェースマニュアルをご希望のお客様は弊社窓口までお問い合わせください。



##### □ エスケープキャラクタ

バーコードフォントを使用してバーコードを印刷する場合、エスケープキャラクタを使用することによりバーコードデータにバイナリデータを指定することが可能になります。初期値は caret [ ^ ] (5EH)に設定されます。

以下、初期値の caret [ ^ ] (5EH)を使用した場合の説明になります。

ヘキサデシマル入力

^#nn

例

00から06までのバイナリを指定する場合の記述

^00^01^02^03^04^05^06

略語による入力

^<CCC>

例

00から06までのバイナリを指定する場合の記述

^<NUL>^<SOH>^<STX>^<ETX>^<EOT>^<ENQ>^<ACK>

エスケープキャラクタの入力

バーコードデータにエスケープキャラクタを入力する場合にはエスケープキャラクタを2回送ります。

^^

バイナリデータ

<NUL> 00	<DLE> 10
<SOH> 01	<DC1> 11
<STX> 02	<DC2> 12
<ETX> 03	<DC3> 13
<EOT> 04	<DC4> 14
<ENQ> 05	<NAK> 15
<ACK> 06	<SYN> 16
<BEL> 07	<ETB> 17
<BS> 08	<CAN> 18
<HT> 09	<EM> 19
<LF> 0A	<SUB> 1A
<VT> 0B	<ESC> 1B
<FF> 0C	<FS> 1C
<CR> 0D	<GS> 1D
<SO> 0E	<RS> 1E
<SI> 0F	<US> 1F
	<DEL> 7F

## ■ ドライバオプション

### □ ライン描画

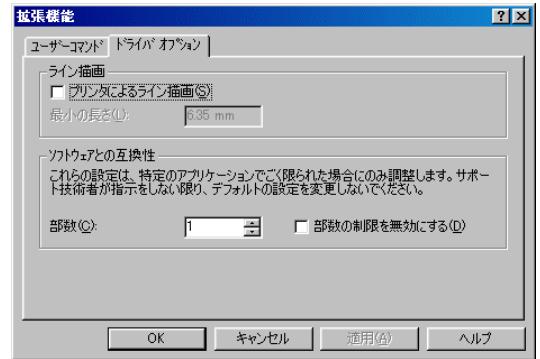
“ プリンタによるライン描画(S) ” をチェックすると、バーコードプリンタのライン描画機能を使ってラインを印刷することができます。( 印刷スループットの向上が見込めます )

“ 最小の長さ(L) ” は、バーコードプリンタのライン描画機能で描画させるラインの最小値です。“ 最小の長さ(L) ” で設定した値より短いラインは、OS の描画機能により印刷されます。

注意：使用するアプリケーションにより、このライン描画機能が正しく働かない場合があります。その場合は、チェックをはずしてご使用ください。

### □ ソフトウェアの互換性

デフォルトのままご使用ください。



### 3.3 グラフィックの設定

「グラフィック」タブを選択すると、ディザリングの選択や色の調整が行えます。



#### □ ディザリング

グラフィック印刷時の描画（ディザリング）パターンを選択します。

- \* なし(N)
- \* ハーフトーン(H)
- \* オーダード(D)
- \* 代数(B)
- \* 誤差拡散法(E)

[ディザリングのセットアップ] をクリックすると、数種類のアルゴリズムの中から選択できます。アルゴリズムはディザリングパターンによって異なります。

#### □ 色

「モノクロ印刷」のみ選択可能です。

## 3.4 オプションの設定

「オプション」タブを選択します。



### □ グラフックオプション

“転送モード(M)”にて、グラフックスデータの転送方式が選択できますが、“TOPIX圧縮”方式でお使いください。TOPIX圧縮に未対応の機種をお使いの場合は、“ヘキサモード上書き描画”方式を選択してください。

#### ➤ TOPIX圧縮対応機種

- \* B-374-TS15 ROM バージョン V2.4以降
- \* B-474-TS15 ROM バージョン V2.4以降
- \* B-874-TS15 ROM バージョン V1.3以降
- \* B-433、B-458、B-874-TS25、B-484、B-858、B-419、B-SV4、B-SX5T、B-SP2D、B-SA4T、B-SX8R、B-858-R の全バージョン

### □ 印刷濃度調整

“設定(E)”をチェックすると、印刷時のヘッド電圧の値を“直接感熱(D)”、“熱転写(T)”用にそれぞれ設定できます。

### □ オートフィード

“設定(S)”をチェックすると、“フィード調整(F)”にて印刷後に自動的に紙送りする量を設定できます。印刷開始時には、自動的に印字開始位置までバックフィードします。(B-419、B-SP2D、B-SX8R は設定できません。)

## 3.5 バーコードフォント / RFID フォントの設定

「フォント」タブを選択すると、バーコードおよび RFID のデバイスフォント登録が行えます。アプリケーションで使用するバーコードフォントがリストにない場合、[ フォント ] - [ 新規バーコードフォント ] を押して、「バーコードフォント」ダイアログボックスにてバーコード種類、比率、細バーの長さなどを設定して追加登録できます。また、RFID フォントの場合には、[ フォント ] - [ 新規 RFID フォント ] を押して、「RFID フォント」ダイアログボックスにてタグ種類、形式などを設定して追加登録できます。

注意：\* バーコードおよび RFID のデバイスフォントは、プリンタドライバ毎に登録してください。また、共有プリンタへ印刷する場合においても、印刷指示を行うクライアントコンピュータと共有プリンタを設定したコンピュータそれぞれに、デバイスフォントを登録してください。共有プリンタ側にだけデバイスフォントを登録しても、クライアント側とデバイスフォントを共有して使用することはできません。

[ インポート ] [ エクスポート ] 機能を使用すると、他のプリンタドライバへの登録が容易に行なうことができます。『ドライバ』を参照してください。

\* バーコードフォントのデータとして漢字データを使用する場合は、[ ツール ] - [ 設定 ] - [ プリンタオプション ] - [ プリンタの制御コード切り換え ] のチェックを外してください。

\* B-458-HS13用『銘板・シールプリントシステム』をご使用になる場合、本バーコード設定による設定は必要ありません。

\* 『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、諸事情により未対応となっております。編集画面の表示、および項目等の選択は一切できません。ご了承ください。



## □ [ フォント(F) ]

バーコードフォントのメンテナンスを行います。

### ➢ 新規バーコードフォント

バーコードフォントを新規に登録します。登録数の制限はありません。

→『3.5.1 バーコードフォントの編集』を参照してください。

### ➢ 新規 RFID フォント

RFID フォントを新規に登録します。登録数の制限はありません。

→『3.5.2 RFID フォントの編集』を参照してください。

### ➢ 編集

登録済みのフォントの設定内容を変更します。

編集するフォントを選択し、[ フォント(F) ] - [ 編集 ] または右クリック - [ 編集 ] を選択します。

### ➢ 削除

登録済みのフォントを削除します。

削除するフォントを選択し、[ フォント(F) ] - [ 削除 ] または右クリック - [ 削除 ] を選択します。

## □ [ 表示(V) ]

[ フォント ] タブにて表示するフォントの種類を“バーコードフォント”“RFID フォント”的2つから選択します。チェックを変更するごとに表示されるフォント種類が変わります。

補足 : [ フォント ] タブに表示するフォントは、当該プリンタドライバで使用可能なフォントのみです。  
同一のコンピュータ上にある他のプリンタドライバで登録したデバイスフォントは表示されません。

## □ [ ツール(T) ]

デバイスフォント関連の各種設定とプリンタドライバのオプション機能を設定します。

### ➢ プリンタ内蔵フォント / ユーティリティフォント

以下の項目はデフォルトのままご使用ください。

・[アウトラインフォントオプション]

・[ビットマップフォントオプション]

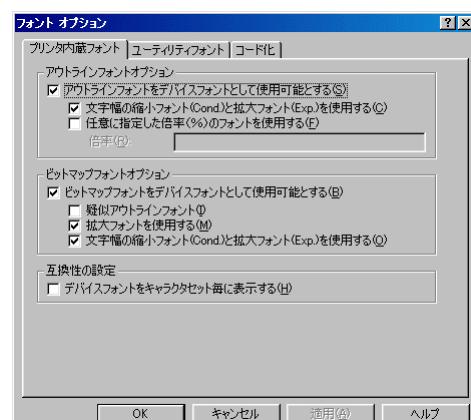
・[互換性の設定][デバイスフォントをキャラクタ毎に表示する]

・[ユーティリティフォントオプション]

デフォルトは有効に設定されています。

補足 : 本機能はデバイスフォントの有効 / 無効を指定します。

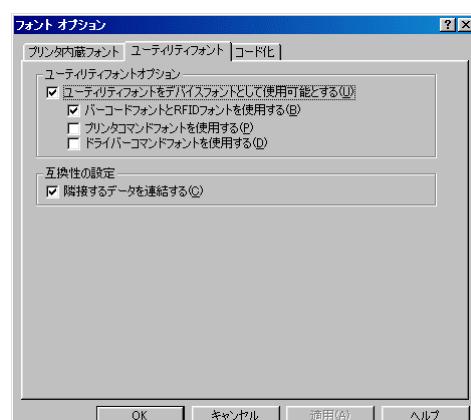
デバイスフォントを使用しない場合でも、有効にした状態で印刷を行うことができますが、無効に設定することでプリンタドライバの処理が軽減されプリンタドライバの印刷効率が向上します。



### [互換性の設定][隣接するデータを連結する]

2フィールド以上指定したバーコードフォントが、1つのバーコードになって印刷されてしまう場合には、チェックを外してください。

デフォルトは有効に設定されています。



### ➢ コード化

デフォルトのままご使用ください。

### 3.5.1 バーコードフォントの編集

新規登録の場合は [ フォント(F) ] - [ 新規バーコードフォント ] 編集する場合は編集するフォントを選択し、[ フォント(F) ] - [ 編集 ] または右クリック [ 編集 ] により、バーコードフォントのメンテナンスが行えます。



## ■ フォント

- フォント名(N)
  - “新規”の場合は、バーコードフォントの名前を任意に設定できます。  
英数字、漢字、カナで入力します。
- データの連結(M)
  - “データの連結”をチェックすると、アプリケーション内で文字テキストにバーコードフォントを指定した場合、複数行にまたがって入力されたテキストを1つのバーコードとして扱うことができます。
- キャラクタ設定(C)
  - コード化する文字列の種別を設定します。漢字などの2バイトコードをコード化する場合、“日本語”を選択します。
- 幅(W)
  - アプリケーション内で画面に表示する文字テキストの文字幅を指定します。

## ■ バーコードオプション

- コード種類(S)
  - バーコードまたは2次元コードの種類を選択します。
    - コード種類
      - “Code-39 Full ASCII”、“Code-39”、“Code-93”、“Code-128”、“Codabar (NW-7)”、“インターリーブド 2of5 (ITF)”、“MSI Plessey”、“UPC-A”、“UPC-E”、“EAN/JAN-13”、“EAN/JAN-8”、“PDF417”、“Data Matrix (データコード)”、“Maxi Code”、“QR コード”、“Micro PDF417”、“US POSTNET”、“Royal Mail 4-State Customer Code”、“Japanese 4-State Customer Code”、“KIX 4-State Customer Code”、“RSS”
  - 細バー / セルの寸法(X)
    - 細バーまたは1セルの長さを設定します。(バーコードプリンタの機種や選択したコード種類により異なります。)

補足：バーコードの高さは、アプリケーションのフォントのサイズ指定により調整できます。

- バー下数字(H)  
“あり(バーコード下部)”、“なし”を選択します。(コード種類により設定できない場合があります。)
- 印刷の向き(O)  
バーコードの印刷の向きを指定します。
  - \* 0°
  - \* 90°
  - \* 180°
  - \* 270°
- 比率(R)  
細バー：太バーの比率を、“自動”または各比率から選択します。(コード種類により設定できない場合があります。)

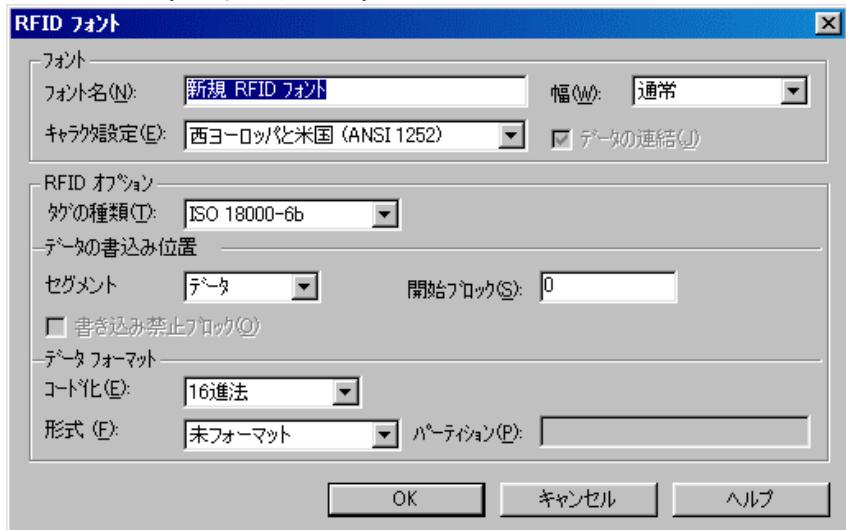
## ■ コード固有のオプション

“コード固有のオプション”では、選択したコード種類固有の項目を設定できます。

### 3.5.2 RFID フォントの編集

新規登録の場合は [ フォント(F) ] - [ 新規 RFID フォント ] 編集する場合は編集するフォントを選択し、 [ フォント(F) ] - [ 編集 ] または右クリック [ 編集 ] により、RFID フォントのメンテナンスが行えます。

注意：『3.5.2 RFID フォントの編集』機能は、諸事情により未対応となっております。編集画面の表示、および項目等の選択は一切できません。ご了承ください。



## ■ フォント

- フォント名(N)  
“新規”の場合は、バーコードフォントの名前を任意に設定できます。  
英数字、漢字、カナで入力します。
- キャラクタ設定(C)  
コード化する文字列の種別を設定します。漢字などの2バイトコードをコード化する場合、“日本語”を選択します。
- 幅(W)  
アプリケーション内で画面に表示する文字テキストの文字幅を指定します。

## ■ RFID オプション

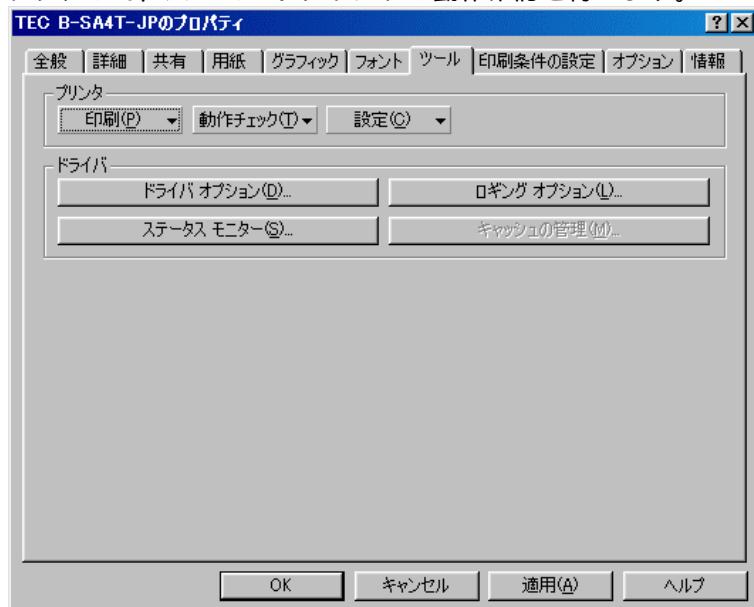
- タグの種類(T)  
使用するタグの種類を指定します。  
プリンタに装着した R/W モジュールにより、使用できるタグ種類が異なります。  
R/W モジュールに付属する取扱説明書をご覧ください。
- コード化(E)  
コード化するデータの形式を指定します。
  - \* テキスト
  - \* 16進数
  - \* バイナリ
- 形式(F)  
書き込みデータのエンコード種類を指定します。  
SGTIN-64、SGTIN-96 SSCC-64、SSCC-96、SGLN-64、SGLN-96、GRAI-64、GRAI-96、GIAI-64、GIAI-96、GID-96、DOD/UID-64、DOD/UID-64、未フォーマット、Raw EPC-96、カスタム

- パーティション(P)
  - 「形式」をカスタムに指定した場合に指定できます。
  - エンコードするビットフィールドの構成を任意に指定します。
  
- アプリケーションからの書き込みデータの指定方法
  - エンコードするフォーマット種類に従って、各ビットフィールドの値をセミコロン(;)で区切って指定します。
  - 例えば SSCC-64の場合、Filter Value = 2、Company Prefix = 14501、Serial Reference = 200045294701で書き込みを行うには、2;14501;200045294701と指定します。
  - エンコードの種類ごとに指定方法が異なります。

フォーマット	アプリケーションから指定するデータ
SGTIN-64	Filter Value;Company Prefix;Item Reference;Serial Number
SGTIN-96	Filter Value;Company Prefix;Item Reference;Serial Number
SSCC-64	Filter Value;Company Prefix;Serial Reference
SSCC-96	Filter Value;Company Prefix;Serial Reference
SGLN-64	Filter Value;Company Prefix;Location Reference;Serial Number
SGLN-96	Filter Value;Company Prefix;Location Reference;Serial Number
GRAI-64	Filter Value;Company Prefix;Asset Type;Serial Number
GRAI-96	Filter Value;Company Prefix;Asset Type;Serial Number
GIAI-64	Filter Value;Company Prefix;Individual Asset Reference
GIAI-96	Filter Value;Company Prefix;Individual Asset Reference
GID-96	General Manager Number;Object Class;Serial Number
DOD/UID-64	Filter Value;CAGE;Serial Number
DOD/UID-64	Filter Value;CAGE;Serial Number

## 3.6 バーコードプリンタの動作確認

「ツール」タブをクリックして、バーコードプリンタの動作確認を行います。



### ■ プリンタ

#### □ 印刷(P)

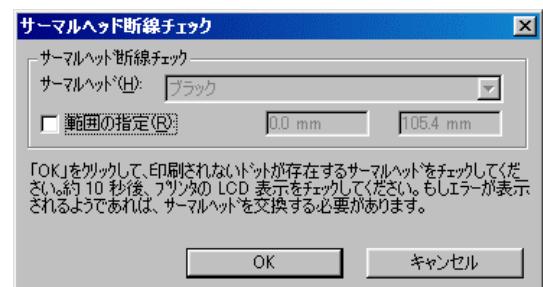
プリンタの動作チェックを行います。[印刷]をクリックすると、本製品側で設定されている印刷条件(用紙サイズ、位置微調、センサー種別等)で、選択したパターンを印刷します。

- \* テストラベル
- \* 白紙

#### □ 動作チェック(T)

[動作チェック]をクリックして機能を選択します。(プリンタの機種により選択できる機能が異なります。)

- フィード  
“フィード”を選択すると、用紙を1枚紙送りします。
- カット  
“カット”を選択すると、カッターモジュールの動作確認を行います。  
プリンタが記憶している印刷条件で紙送り後、カットします。
- プリンタ情報の読み込み  
本機能は未対応です。
- プリンタのリセット(プリンタとコンピュータをRS-232Cで接続した場合のみ)  
“リセット”を選択すると、バーコードプリンタがリセットされます。
- サーマルヘッド断線チェック(B-458-TS13は未対応)  
サーマルヘッドの断線チェックを行います。

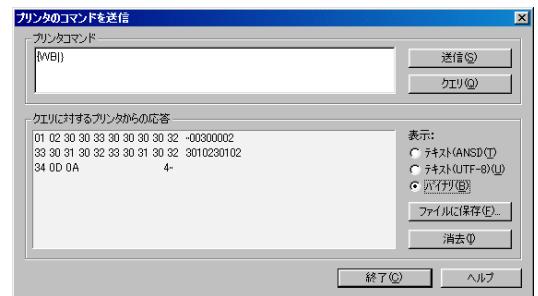


➤ プリンタのコマンドを送信

記述したプリンタのコマンドをバーコードプリンタへ送信します。また、[ クエリ(O) ] ボタンにて、記述したプリンタのコマンドをバーコードプリンタに送信後、バーコードプリンタからのステータスを確認します。

[ クエリ(O) ] ボタンは、プリンタと双方向通信可能な状態の時に機能します。また、送信するコマンドは、プリンタがステータスを返すコマンドのみ有効です。

プリンタのコマンドについては、外部機器インターフェースマニュアルをご覧ください。



➤ ファイルをプリンタに転送

コマンドファイルをバーコードプリンタへ送信します。

□ 設定(C)

➤ プリンタオプション

□ ステータス自動送信を有効にする

プリンタから自動的に送られてくるステータス（印字終了、各種エラー）を受信しない場合は無効にします。

注意：デフォルトは有効に設定されますが、本製品はこのステータスを使用していません。ステータスを必要としない場合は無効にしてください。

□ コマンドプロトコル

プリンタコマンドで使用する制御コードを切り替えます。デバイスフォントのデータとして漢字データを使用する場合には[制御コード]を[ESC / LF / NUL]に設定します。

注意：デフォルトは[標準]に設定されています。

デバイスフォントのデータとして漢字データを使用した場合、本チェックを外さないまま印刷するとプリンタがエラーになります。PDF417、MicroPDF417、Data Matrix、Maxicode、QR Code にて漢字コードを指定する場合は、[ESC / LF / NUL]に設定してください。



➤ 自動頭出しフィード機能設定 (B-419のみ)

“自動頭出し機能を有効にする”にチェックして、[ OK ] をクリックすると、自動的に用紙を頭出しする機能が働きます。チェックをはずして、[ OK ] をクリックすると、自動的に用紙を頭出しする機能が働かない設定になります。

本設定は、コンピュータとプリンタが通信可能な状態であり、B-419が印刷中で無いときに行えます。

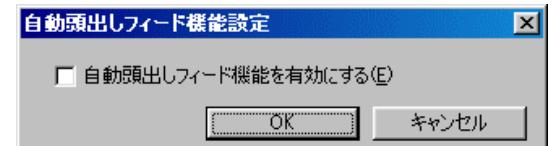
補足：自動頭出しフィード “あり” の状態で、自動頭出しフィード用の用紙を使用しないと、プリンタがセンサーワークを起こしますが、エラー状態でも、本機能によりオートフィード有無の切り替えは可能です。

◆ 自動頭出しフィード機能

B-419は自動頭出しフィードを “あり” に設定した場合、下記のときに自動的にフィードし、用紙の頭出しを行います。

- \* スタンバイスイッチ ON 中に用紙を手差しで給紙したとき
- \* スタンバイスイッチ投入時、用紙が既にセットされているとき
- \* 用紙をセットしてカバーを閉じたとき

注意：自動頭出しフィード機能を利用するには、用紙の裏側の既定位置に、ブラック（黒）マークがある用紙を使用する必要があります。

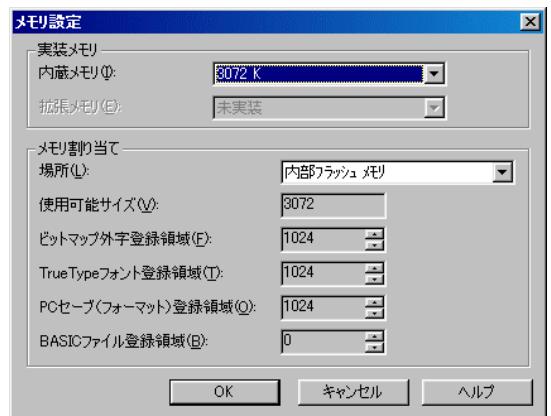


- **RFID オプション**  
印字停止位置で RFID タグがプリンタの RFID アンテナの真上に無いタグを使用する場合に [ 調整値 ] にて調整します。  
調整値指定範囲 : -999.9mm ~ 999.9mm  
逆転方向に調整する場合は、負（-）の値を指定します。



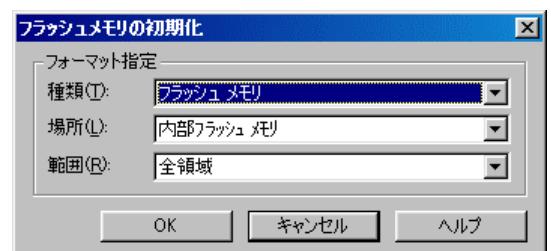
- **メモリーの設定**  
プリンタの内蔵メモリーまたは、拡張メモリーの登録エリアをアロケートします。

注意：本製品による印刷においては、本機能による操作は必要ありません。



- **フラッシュメモリーの初期化**  
フラッシュメモリーの領域を選択して初期化（フォーマット）します。

注意：本製品による印刷においては、本機能による操作は必要ありません。



- **リボン設定**  
リボンモーターの駆動電圧を調整する場合、[ 設定 ] をチェックします。印刷中にリボンにシワが発生しするときは、リボンモーターの駆動電圧を調整してください。通常はチェックしないでください。



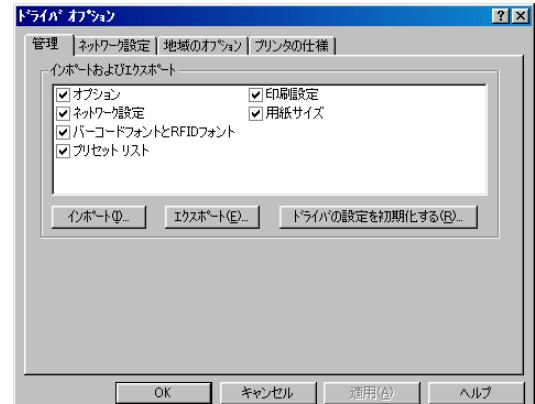
## ■ ドライバ

### □ ドライバオプション(D)

#### ➤ 管理

プリンタドライバの設定値をエクスポート（取出し）して、当社製バーコードプリンタ用のプリンタドライバをインストールした他のコンピュータにインポート（取込み）することで設定の共有化ができます。

注意：9バイト以上の長いファイル名は未対応です



オプション：

[オプション] プロパティシートで設定した情報

ネットワーク設定：

ドライバオプションのネットワーク設定ダイアログ情報

バーコードフォントと RFID フォント：

フォントダイアログから作成されたバーコードと RFID フォント情報

プリセットリスト：

[プリセットの管理] ボタンにて登録したプリセット情報

印刷設定：

印刷のために設定した用紙種類、印刷の向き等の印刷情報。

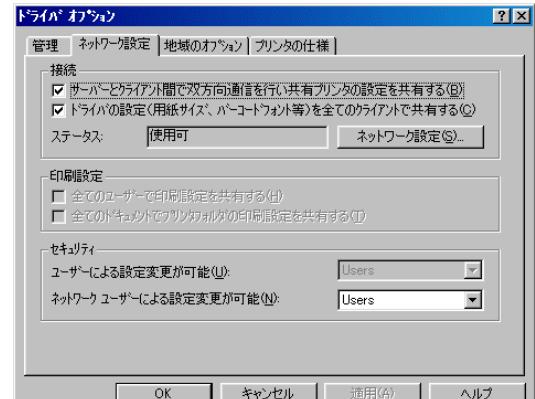
用紙サイズ：

[用紙] プロパティシートから登録した用紙サイズ情報。

#### ➤ ネットワーク設定

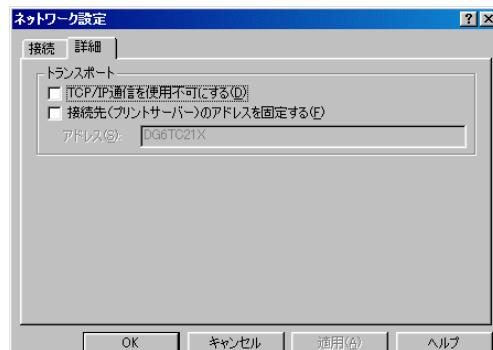
デフォルトのままご使用ください。

補足：本機能は共有プリンタをネットワークプリンタとしてインストール（接続）した場合に使用しますが、すべてのネットワーク環境において動作を保証できません。確実に印刷するために、ネットワークプリンタとしてバーコードプリンタを使用する場合も、ローカルプリンタとしてインストールした後、印刷先にネットワークパスを指定してご利用ください。（1.7 注意事項（重要）参照）



[ネットワーク設定(S)]ボタンによる設定内容

デフォルトのままご使用ください。



➤ 地域のオプション

本製品の表示言語と単位が設定できます。

言語の選択：言語(L)

使用言語を選択します。“システム設定を使う”、“日本語”または“英語”が選択可能です。

- \* システム設定を使う

- \* 英語

- \* 日本語

単位の選択：単位(U)

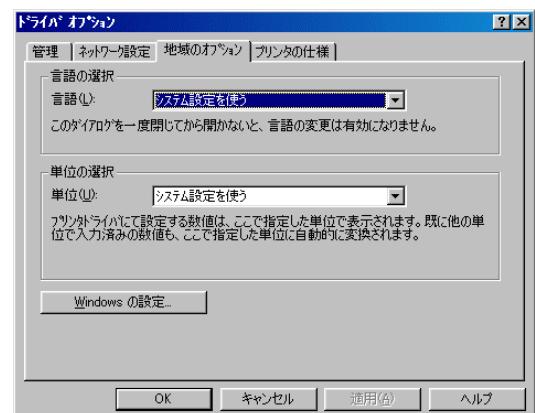
使用する単位を選択します。

- \* システム設定を使う

- \* インチ

- \* ミリメートル

- \* センチメートル



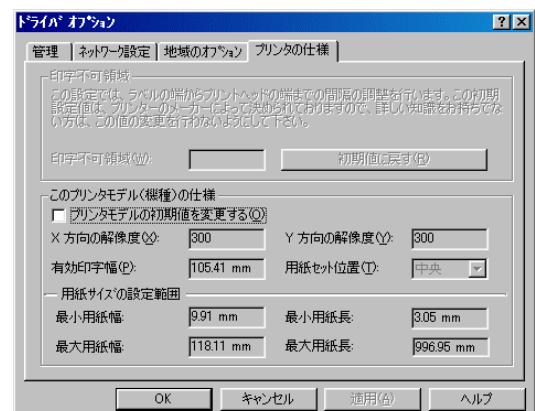
➤ プリンタの仕様

印字不可領域：

本機能は未対応です。

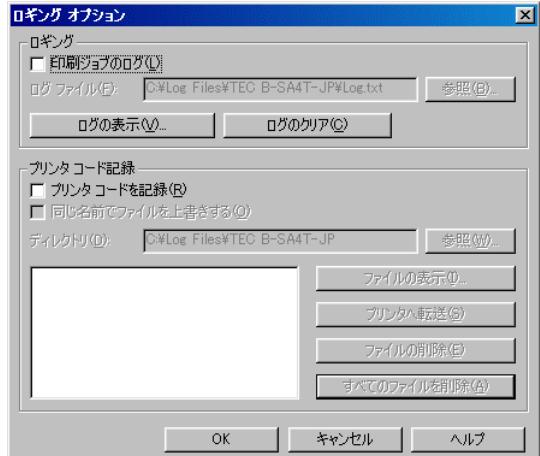
このプリンタモデル（機種）の仕様：

デフォルトのままご使用ください。この値を変更した場合、その結果に対して当社は責任を負いかねます。



□ ロギングオプション(L)

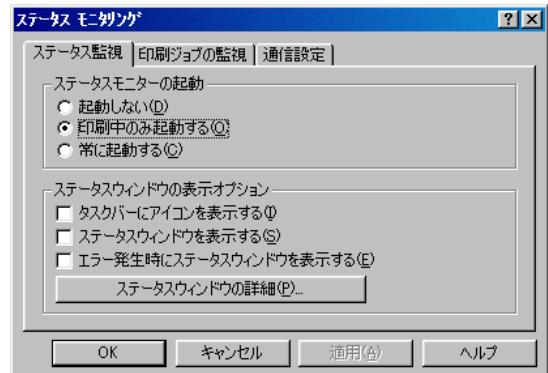
印刷ジョブのログをファイルに記録することができます。「雙方向通信サポート」を有効にした場合のみ機能します。



## □ ステータスモニタリング(S)

プリンタの状態をコンピュータで監視します。本機能は B-SX5T-TS15、B-SV4D-GH10、B-SV4D-GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R で使用可能です。ステータスマニターの使用条件を以下に示します。

- コンピュータとプリンタをシリアルケーブルで接続した場合。
- コンピュータとプリンタをプリンタケーブルで接続し、プリンタの設定を "CENTRO. MODE" を「ECP」、"PLUG & PLAY" を「ON」に指定した場合。( B-SV4D-GH10、B-SV4D-GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R は対象外 )
- コンピュータとプリンタを USB ケーブルで接続した場合。
- コンピュータとプリンタを LAN ケーブルで接続した場合。



## ■ ステータスマニターの起動

デフォルト(上記画面の設定)のままご使用ください。

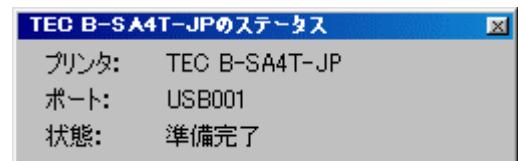
## ■ ステータスウィンドウの表示オプション

### □ 「タスクバーにアイコンを表示する」(I)

チェックするとステータスマニターが起動しタスクバーにアイコンを表示します。プリンタの状態を周期的に監視します。

### □ 「ステータスウィンドウを表示する」(S)

チェックするとステータスマニターが起動しステータスウィンドウを表示します。



プリンタ : ステータスマニターが監視しているプリンタ名を表示します。

ポート : ステータスマニターが監視している出力ポートです。プリンタが印刷に使用しているポートです。

状態 : プリンタの状態を表示します。プリンタ本体の LCD 表示と同じ意味合いのメッセージを表示します。ただし、プリンタの状態のみ表示する機能です。残枚数等の詳細は表示できません。

### < プリンタの状態 >

* 印刷可能(待機中)	* 処理中	* 印刷中
* ポーズ中	* オフライン状態	* 紙がありません
* リボンがありません	* ヘッドオープン	* 紙送りエラー
* カッターエラー	* リボンエラー	* センサー エラー
* コマンドエラー		
* ASF パワーオフ	* ASF 接続エラー	* 消去機カバーオープン
* ASF モーターエラー	* 消去機エラー	* ヘッド冷却中
* 用紙給紙中	* ウォーミングアップ	

### < エラー復帰方法 >

“紙がありません”等、プリンタにエラーが発生した場合は、プリンタ側でエラーの処置をした後、プリンタ本体の [RESTART] キーを押してください。

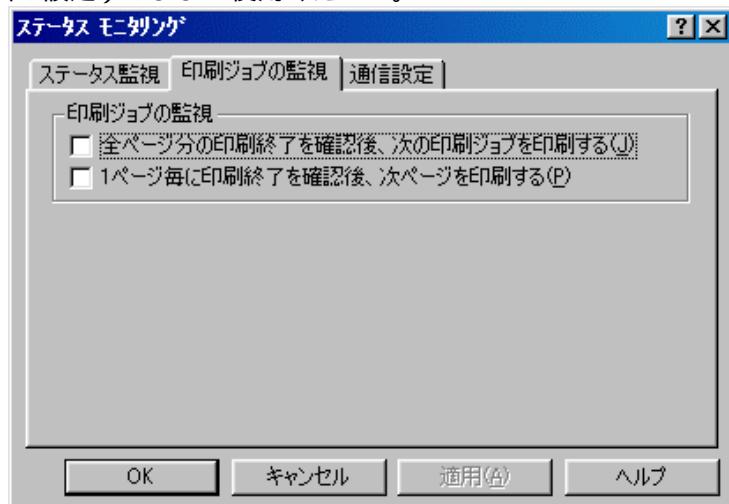
エラー復帰方法の詳細については、バーコードプリンタの取扱説明書をご覧ください。

- 右上 [×]: ステータスウィンドウの表示を閉じてステータスマニターを停止します。

- エラー発生時にステータスウィンドウを表示する(E)  
チェックするとステータスマニターが起動し、ステータスウィンドウの表示が閉じていた場合に、印刷中にエラーが発生したときに、ステータスウィンドウの画面を表示します。

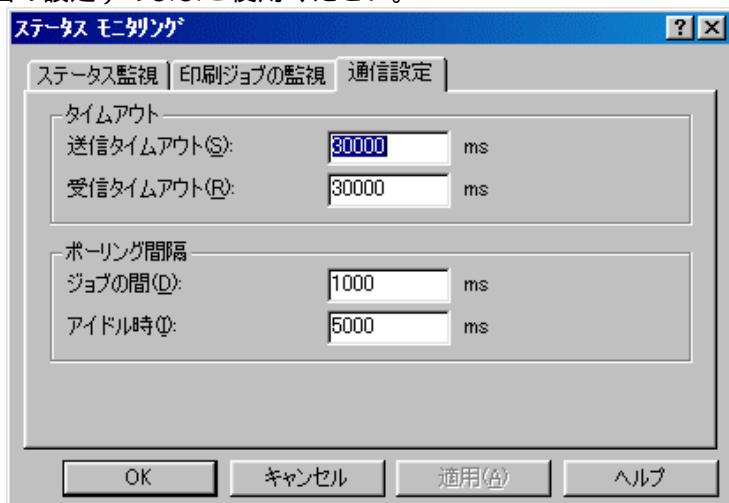
## ■ 印刷ジョブの監視

デフォルト（下記画面の設定）のままご使用ください。



## ■ 通信設定

デフォルト（下記画面の設定）のままご使用ください。



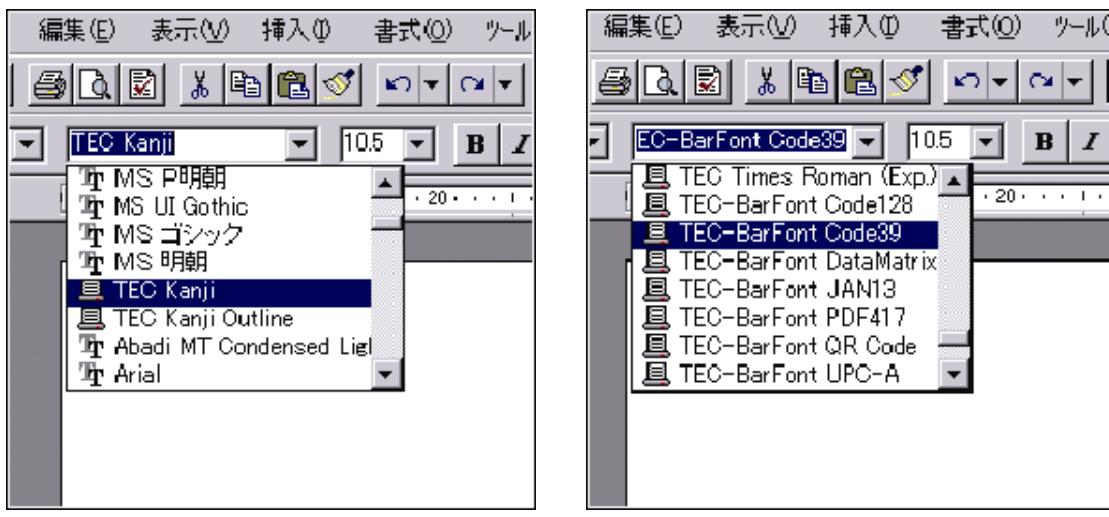
注意：\* プリンタドライバのアンインストール時、および印刷するポート切り換え時には、必ずステータスマニターを停止してください。

- \* 共有プリンタとして使用している場合は、クライアントではステータスマニターが表示しません。
- \* ステータスマニターを表示すると、プリンタの「ON LINE」LED が周期的に点滅します。プリンタの故障ではありません。
- \* B-SX5T-TS15、B-SV4D-GH10、B-SV4D-GC10、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R以外のプリンタをご使用の場合は、ステータスマニターは起動しないでください。
- \* ステータスマニターが“オフライン状態”を検出するには時間がかかります。（最低30秒以上）

## 3.7 プリンタフォントの指定

アプリケーションでバーコードプリンタに内蔵する文字フォントや、バーコード・2次元コードを使用するときは、文字（数字）データのフォント種類を“TEC Kanji”などのバーコードプリンタのプリンタフォントに指定してください。

### ■ アプリケーション上のフォント選択画面例



<文字フォント>

<バーコードフォント>

- 補足：\* 当社製バーコードプリンタ用のプリンタフォント（バーコード・2次元コードフォント）の名称には、“TEC Kanji”のように頭に“TEC”という名がついています。“TEC \*\*\*\*”フォントを選択すると、画面上の表示は印刷結果と異なりますが、プリンタ内蔵フォントにより印刷されます。
- \* プリンタフォントを使用すると、印刷スループットの向上が見込まれます。
  - \* アプリケーション上に表示されるプリンタ文字フォント（バーコード含む）は、実際に印字される文字、バーコードと異なります。大きさも実寸と異なります。
  - \* “TEC Kanji Outline”について  
漢字アウトラインは、B-374、B-474、B-874にオプション（別売）として設定されています。

### ■ バーコードフォント プログラミング例 (Visual Basic)

登録されているバーコードフォントのフォント名が、“BarFont Code39”の場合の記述例。

```
Private Sub Command1_Click()
    Printer.FontName = "TEC-BarFont Code39"
    PrinterFontSize = 36
    Printer.FontBold = False
    Printer.FontItalic = False
    Printer.CurrentX = 1000
    Printer.CurrentY = 1000
    Printer.Print "1234567"
    Printer.EndDoc
End Sub
```

## ■ バーコードフォントの制限事項

- アプリケーションによっては、バーコードフォントが文字種類のリストに表示されない場合があります。  
アプリケーションがプリンタフォントに対応していることを確認してください。
- アプリケーションのドキュメント上には、バーコードは表示されません。文字または記号で表示されます。
- バーコードの回転を指定すると、アプリケーションから指定した位置と実際に印刷される位置が異なります。実際に印刷して位置関係を調整してください。
- バーコードの高さは文字サイズのポイント数で指定します。  
下記以外のポイント数を指定した場合は、下記のポイント数に置き換えられるか、または、他の文字フォントに置き換えられ、バーコードが印刷されない場合があります。

ポイント数	バー高さ (mm)
8	2.8
9	3.2
10	3.5
11	3.9
12	4.2
14	4.9
18	6.4
24	8.5
30	10.6
36	12.7
48	16.9
60	21.2
72	25.4
108	38.1
144	50.8
180	63.5
216	76.2

- QR コードに漢字コードが含まれる場合  
[ プリンタオプション ] タブの “ 制御コード ” を “ ESC / LF / NUL ” に設定してください。
- Data Matrix ( データコード ) に漢字コードは使用できません。

■ 漢字フォント“TEC Kanji”の指定サイズと実際に印字される文字サイズの比較表

単位：ポイント

B-374/474/874/484/SX5T/SX8R		B-458-TS/433-TS/858/SA4T-TS/858-R	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ~ 2.0	1.9	1.0 ~ 2.5	1.9
2.5 ~ 3.0	2.8	3.0 ~ 3.0	2.9
3.5 ~ 5.0	3.8	3.5 ~ 5.0	3.8
5.5 ~ 7.0	5.6	5.5 ~ 7.0	5.8
7.5 ~ 9.0	7.5	7.5 ~ 9.0	7.7
9.5 ~ 10.0	9.4	9.5 ~ 10.5	9.6
10.5 ~ 14.0	11.3	11.0 ~ 14.5	11.5
14.5 ~ 16.0	15.1	15.0 ~ 16.5	15.4
16.5 ~ 18.0	16.9	17.0 ~ 18.5	17.3
18.5 ~ 21.5	18.8	19.0 ~ 22.0	19.2
22.0 ~ 27.0	22.6	22.5 ~ 27.5	23.0
27.5 ~ 32.5	28.2	28.0 ~ 33.0	28.8
33.0 ~ 50.0	33.9	33.5 ~ 50.0	34.6

B-433-GS/419/SV4/SA4T-GS		B-458-HS	
指定サイズ	印字サイズ	指定サイズ	印字サイズ
1.0 ~ 3.5	2.8	1.0 ~ 1.0	1.0
4.0 ~ 5.0	4.3	1.5 ~ 1.5	1.4
5.5 ~ 7.5	5.7	2.0 ~ 2.5	1.9
8.0 ~ 10.0	8.5	3.0 ~ 3.5	2.9
10.5 ~ 13.5	11.3	4.0 ~ 4.5	3.8
14.0 ~ 15.5	14.2	5.0 ~ 5.0	4.8
16.0 ~ 21.0	17.0	5.5 ~ 7.0	5.8
21.5 ~ 27.0	22.7	7.5 ~ 8.0	7.7
27.5 ~ 32.5	28.4	8.5 ~ 9.0	8.6
33.0 ~ 57.5	34.0	11.5 ~ 13.5	11.5
		14.0 ~ 16.5	14.4
		17.0 ~ 25.0	17.3

## 4. システム構成

---

本製品は、以下のシステム構成でご利用いただけます。

コンピュータ	DOS/V 機 ( IBM PC-AT 互換機 )
Win NT	Microsoft Windows 2000 / XP / Server 2003 / Vista
Win 9x	Microsoft Windows 98 / Me
プリンタ	東芝テック製バーコードプリンタ
セントロ	セントロニクスケーブル
プリンタ・サーバー	EtherNet 用プリンタ・サーバー機器 B-458-TS : オプション LAN 接続ボードを使用可能 B-484 / B-858 / B-SX : オプション PCMCIA ボードと LAN カードを使用可能 B-SX : オプション LAN 接続ボードを使用可能 B-SA4T / B-SX8R / B-858-R : 標準で使用可能

補足：\* 本製品のインストール方法は、『2. インストール手順』をご覧ください。

注意：\* プリンタ・サーバー機器をご使用の場合は、プリンタ・サーバー機器の説明書に従って接続ポートを設定してください。TEC オプション LAN 接続ボード、オプション PCMCIA ボードと LAN カードを使用してプリンタを LAN 接続する方法は、『6.3 LAN 接続方法』をご参照ください。

\* ネットワークプリンタを使用される場合は、ローカルプリンタとしてインストールした後、印刷先にネットワークパスを指定してご利用ください。詳しくは、注意事項(P4)をご覧ください。

## 4.1 システム構成例

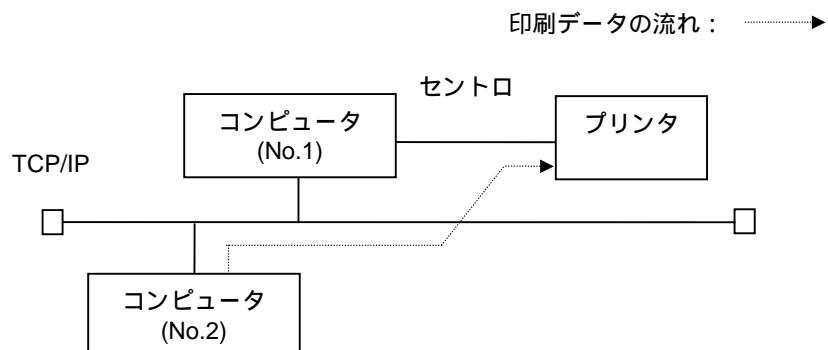
### ■ 例1. Win 9x 搭載コンピュータとプリンタを直接接続して印刷する場合

コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。  
( 使用するポートは LPT1 ( Local Port ) に指定する。 )



### ■ 例2. Win 9x 搭載コンピュータから TCP/IP を経由し、もう一台のコンピュータ（Win 9x 搭載）と直接接続しているプリンタから印刷する場合

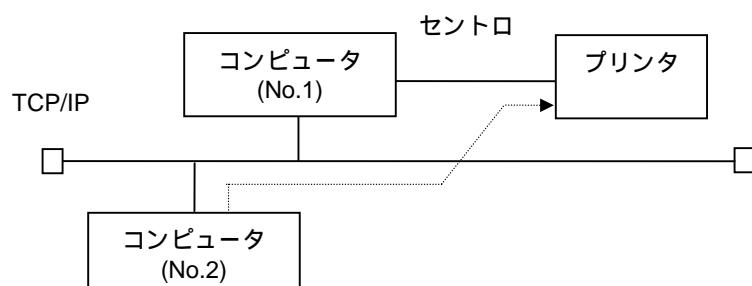
1. コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。  
( 使用するポートは LPT1 ( Local Port ) に指定する。 )
2. コンピュータ（No.1）のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
3. コンピュータ（No.2）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
4. コンピュータ（No.1）に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。



■ 例3. Win 9x 搭載コンピュータから TCP/IP を経由し、もう一台のコンピュータ（Win NT 搭載）と直接接続しているプリンタから印刷する場合

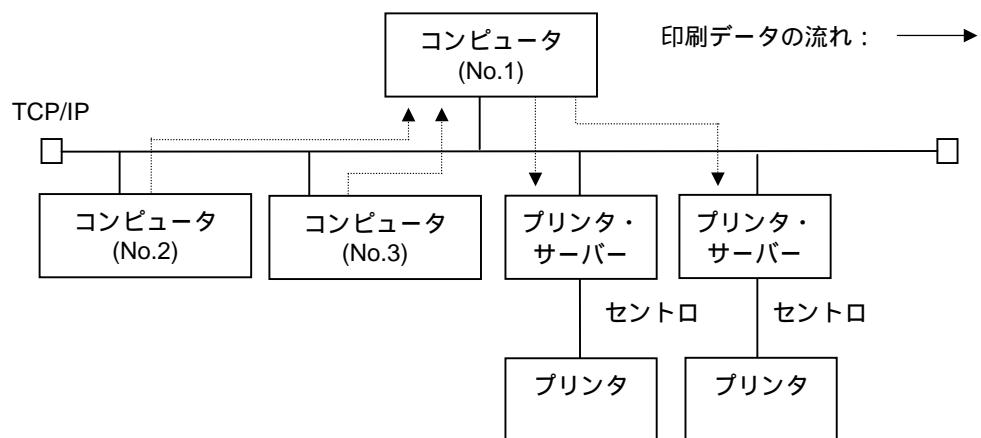
1. コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win NT 用）をインストールします。  
( 使用するポートは LPT1 (Local Port) に指定する。 )
2. コンピュータ（No.1）のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
3. コンピュータ（No.2）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
4. コンピュータ（No.1）に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。

印刷データの流れ : →



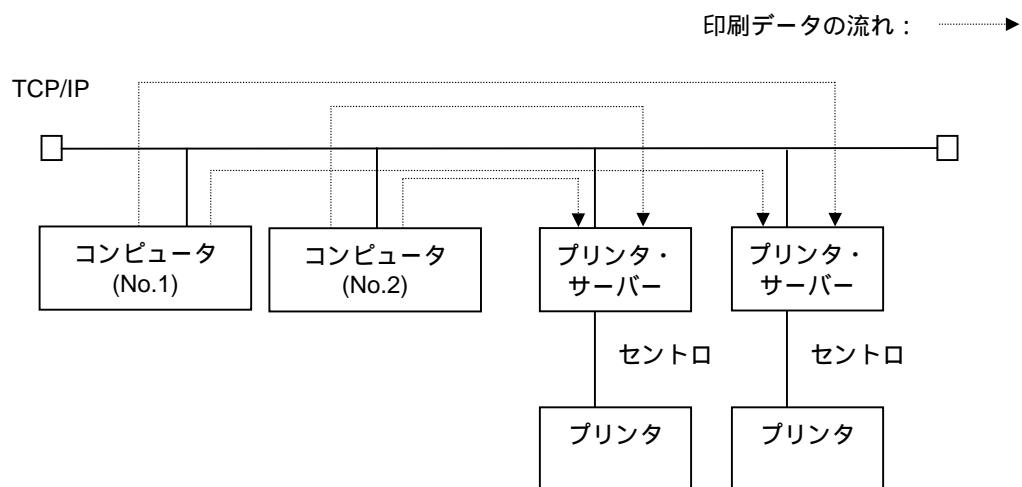
■ 例4. Win 9x 搭載コンピュータ（No.2）とWin NT 搭載コンピュータ（No.3）から、TCP/IP を経由して Win NT 搭載コンピュータ（No.1）に印刷データを送り、コンピュータ（No.1）から再度 TCP/IP を経由して複数台のプリンタで印刷する場合

1. コンピュータ（No.1）にプリンタドライバ（Win NT 用）をプリンタの台数分インストールします。
2. コンピュータ（No.1）にインストールしたプリンタドライバのプロパティで、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。
3. コンピュータ（No.1）からネットワーク上のプリンタを、プリンタのプロパティで共有プリンタに指定します。
4. コンピュータ（No.2）にプリンタドライバ（Win 9x 用）をインストールします。
5. コンピュータ（No.1）に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。
6. コンピュータ（No.3）にプリンタドライバ（Win NT 用）をインストールします。
7. コンピュータ（No.1）に接続されたプリンタのネットワークパスを指定し、ネットワークプリンタとしてインストールします。



■ 例5. Win 9x 搭載コンピュータ (No.1) と Win NT 搭載コンピュータ (No.2) から、TCP/IP を経由して複数台のプリンタで印刷する場合

1. コンピュータ (No.1) にプリンタドライバ (Win 9x 用) をプリンタの台数分インストールします。
2. プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。  
(LPR Port の追加は、プリンタ・サーバー固有の設定ユーティリティなど、他のソフトウェアにて行ってください。)
3. コンピュータ (No.1) の印刷先のポートを、手順2で追加した LPR Port に指定します。
4. コンピュータ (No.2) にプリンタドライバ (Win NT 用) をプリンタ台数分インストールします。
5. コンピュータ (No.2) にインストールしたプリンタドライバのプロパティで、プリンタ・サーバーのアドレスを指定した LPR Port を追加します。
6. コンピュータ (No.2) の印刷先のポートを、手順5で追加した LPR Port に指定します。



注意 : 例5のように、1台のプリンタに対して複数のクライアントコンピュータから同時に印刷を行うと、プリンタ側で“コマンドエラー”が発生し、正しく印刷されない場合があります。  
1台のプリンタで複数のクライアントから印刷を行う場合、例4の構成をお勧めします。

## **5. Seagull Scientific TCP/IP Port の追加 / 削除**

---

LAN インターフェースをご利用いただく場合、プリンタのシステムモードの “<7>IP ADDRESS” で次の設定を行ってください。

- \* “PRINTER IP ADDRESS”、“GATEWAY IP ADDRESS”、“SUBNET MASK” に IP アドレスを設定
- \* “SOCKET PORT” にポート番号を設定

設定した “PRINTER IP ADDRESS” と “SOCKET PORT” は、ポートの追加の “プリンタ名または IP アドレス(A)” と “ポート番号(P)” の設定に使用します。

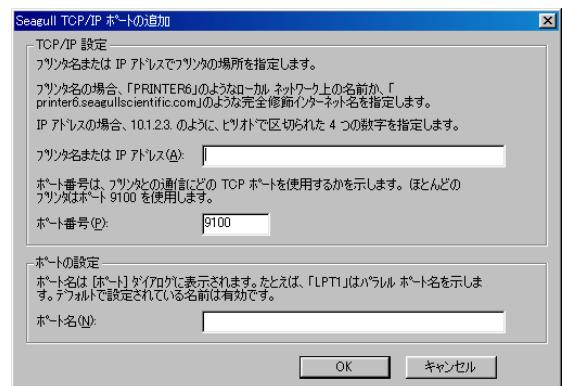
**注意：**Seagull Scientific TCP/IP Port は、B-SX5T-TS15、B-SA4TM / TP-TS15、B-SX8R-TS15、B-858-TS25-R のみ対応しています。他の機種ではご使用できません。Seagull Scientific TCP/IP Port をご使用になる場合には、必ず [ 双方向通信サポート ] を有効にしてください。指定方法については、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照してください。

1台のコンピュータに複数のプリンタドライバを同じ出力ポートに指定しないようにしてください。また、複数のコンピュータから、Seagull Scientific TCP/IP Port を使用して同じ出力ポートに接続できません。

Seagull Scientific TCP/IP Port を指定したローカルプリンタを共有プリンタに設定し、他のコンピュータからは印刷先に共有プリンタのネットワークパスを指定して接続してください。詳しくは、注意事項(P4)をご覧ください。

## 5.1 追 加

1. プリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックしてプリンタのプロパティを開きます。
2. [詳細] タブを選択し、[ポートの追加] をクリックします。
3. “その他”をチェックし、追加するポートの種類の一覧から“Seagull Scientific TCP/IP Port”を選択し、[OK] をクリックします。
4. [Seagull TCP/IP ポートの追加] 画面で“プリンタ名または IP アドレス(A)”と“ポート番号(P)”、“ポート名(N)”を設定し、[OK] をクリックします。  
補足：“ポート番号(P)”はプリンタの“SOCKET PORT”と同じ値を設定してください。プリンタのデフォルト値を使用する場合は8000に設定してください。



5. ポートの追加が終了すると、印刷先のポートに新しくポートが追加されます。

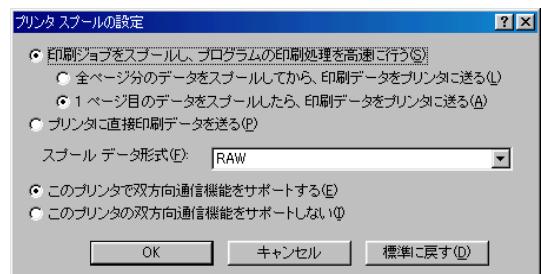
## 5.2 削除

1. プリンタアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックしてプリンタのプロパティを開きます。
2. [詳細]タブを選択し、[ポートの削除]をクリックします。
3. 削除するポートを選択し、[OK]をクリックします。
4. ポートの削除が終了すると、印刷先のポートから削除されます。

# 6. 付 錄

## 6.1 双方向通信サポートの設定方法

1. プリンタフォルダから、プリンタのアイコンを右クリックしてプリンタのプロパティを開きます。
2. [ 詳細 ] タブを選択し、[ スプールの設定 ] をクリックします。
3. 双方向通信サポートを有効にする場合は、[ このプリンタで双方向通信機能をサポートする(E) ] をチェックします。無効にする場合は [ このプリンタで双方向通信機能をサポートしない(I) ] をチェックします。



## 6.2 プリンタのパラメータ設定方法

パラメータの設定方法は、接続している当社製バーコードプリンタの取扱説明書をご覧ください。

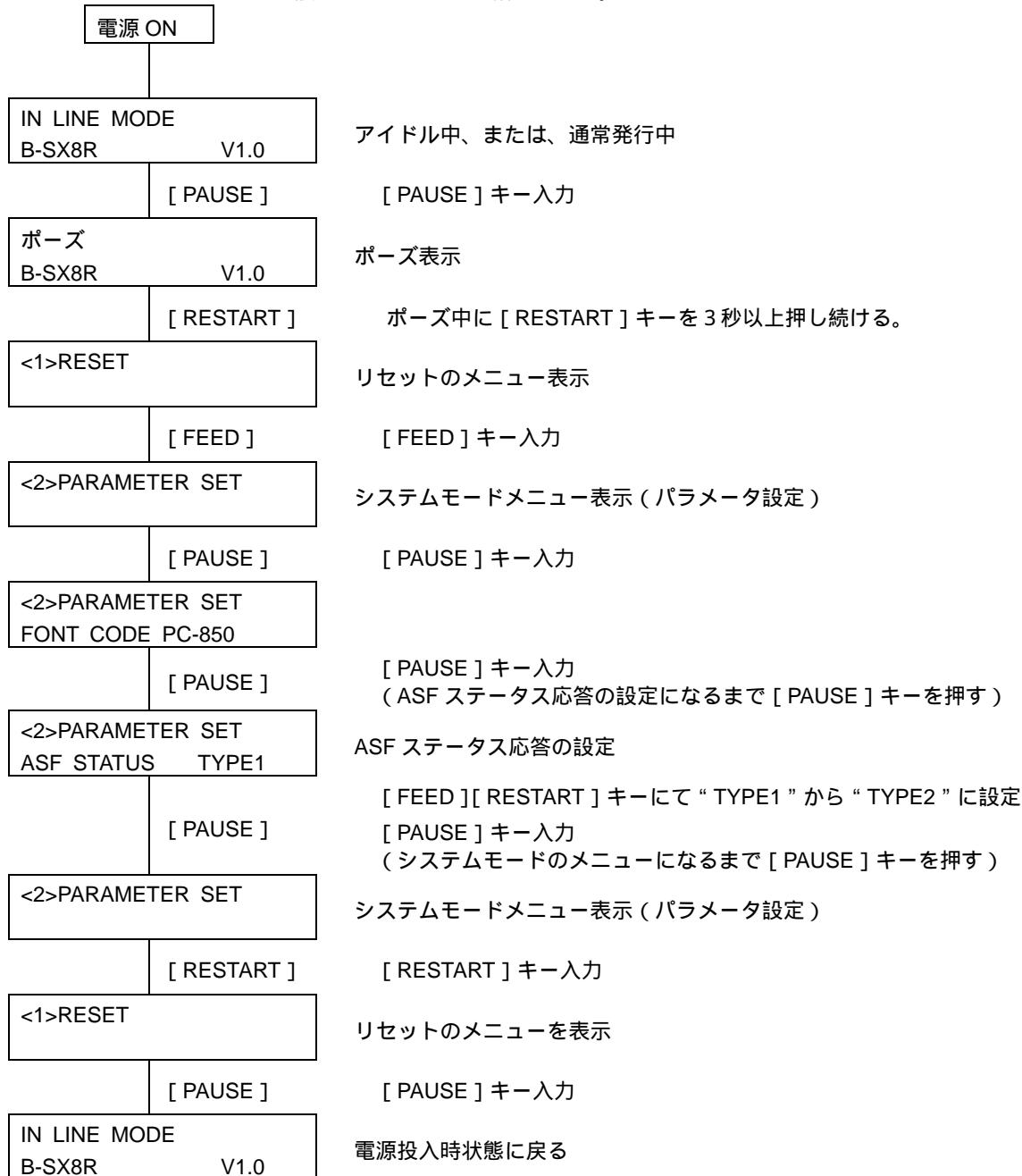
注意：下記の手順は B-SX5T-TS15 プリンタのパラメータ設定方法です。

“ CENTRO. MODE ” の設定を「 ECP 」に指定し、“ PLUG & PLAY ” を「 ON 」に指定します。



注意：下記の手順は B-SX8R-TS15 プリンタのパラメータ設定方法です。

“ASF STATUS” の設定を「TYPE2」に指定します。



## 6.3 LAN 接続方法

プリンタのプロパティでプリンタポートを追加し、印刷先として指定します。

使用するプリンタポートの種類はプリンタ、および通信方法（单方向/双向）により異なります。

### ■ プリンタポートの種類

LAN 接続オプション	プリンタ	通信方法	プリンタポート
LAN 用接続 BOX			
B-7704-LBX	B-374-TS15 B-474-TS15 B-874-TS15 / TS25 B-433-GS15 / TS15 B-458-TS13 / TS23 / TS33 / HS13 B-484-TS15 B-858-TS15	单方向	LPR port
LAN 接続ボード			
B-7704-LAN	B-458-TS13 / TS23	单方向	LPR port
B-7708-PC	B-458-TS33 B-484-TS15 B-858-TS15	单方向	LPR port
B-9700-PCM	B-SX5T-TS15	单方向	LPR port
B-9700-LAN		双向	Seagull Scientific TCP/IP Port
標準装備			
B-SA4TM / TP-TS15 B-SX8R-TS15 B-858-TS25-R		单方向	LPR port
		双向	Seagull Scientific TCP/IP Port

補足：\* LPR port を追加するためのソフトウェアについては、弊社営業担当にお問い合わせください。

\* Seagull Scientific TCP/IP Port の追加方法は、『5. Seagull Scientific TCP/IP Port の追加 / 削除』を参照ください。

\* 双向通信によるステータスマニター機能を必要としない場合には、LPR ポートで接続してください。

注意：\* 单方向通信ときは、必ず [ 双方向通信サポート ] を無効にしてください。

指定方法は、『6.1 双方向通信サポートの設定方法』を参照ください。

**Windows98/Me 対応**

B-374, B-474, B-874, B-433, B-458, B-484, B-858, B-419, B-SX5T, B-SV4D, B-SA4T, B-SX8R, B-858-R

**プリンタドライバ 操作マニュアル**

---

2007年 4月 第17版発行

WBX8Z3115

**発 行 東芝テック株式会社**

流通情報システムカンパニー

〒141-8664 東京都品川区東五反田2丁目17番2号  
オーバルコート大崎マークイースト

---

©東芝テック株式会社 2007

無断複写および転載を禁ず